

# Sailing

会報 2019



公益財団法人  
広島県セーリング連盟

<http://www.jsaf.or.jp/hiroshima/>

広島 ヨット 体験

検索





## マツダは信念を持って挑戦しつづけます

マツダには広島の土地、人々の影響が色濃く反映されています。

その代表的なものが不屈のチャレンジ精神。

戦争により壊滅的被害を受けた広島は、驚異的な復興を遂げますが、

このゼロから立ち直る屈強な精神、チャレンジしていく姿勢は、

広島の企業であるマツダにも受け継がれています。

誰もが無理だと思うこと、難しいということに敢えて挑む。

どんな困難や大きな壁に当たっても、決して諦めずに夢を追いかける。

それが広島の、そしてマツダの精神です。

新しい技術は、挑戦からしか生まれない。

マツダはそんな信念を持って、クルマをつくりつづけています。

**マツダ株式会社**

# 目 次

会長挨拶	会 長 山 根 恒 弘	1
2019年度活動計画・2019年度事業計画	専務理事 井 川 史 朗	2
特集1. 2018ハンザクラスワールド＆インターナショナルチャンピオンシップ広島大会		4
2018ハンザクラスワールド＆インターナショナルチャンピオンシップ広島大会を終え…		5
2018ハンザワールドからの贈り物		16
特集2. レース報告	・2018年を振り返って	20
	・福井国体で入賞して	21
	・2018福井国体レポート 少年女子レーザーラジアル級	22
	・福井国体レースレポート	23
	・OP級アジア＆オセアニア選手権に出場して	24
	・全日本自治体職員ヨット競技大会優勝の報告	25
特集3. 2020東京オリンピック関係	・2020年東京オリンピックへ向けての準備状況	27
ニュース・ニュース・ニュース	・県連創立70周年記念式典・11月23日	29
	・学連、高体連ヨット部OB親善交流レース	29
得点記録の表記について		30
強化委員会		32
安全の為の注意事項		33
公益財団法人 広島県セーリング連盟 定款		34
2018年度 表彰トロフィー受賞者		38
2018年度 競技会記録表		39
2019年度 全日本選手権等セーリング競技日程		42
2019年度 全日本選手権等セーリング連盟レース日程表		43
2019年度の観音マリーナ開催レース概要		44
2018年度 広島県セーリング連盟会員登録集計		46
公益財団法人 広島県セーリング連盟組織図		47
レースオフィサー・メジャラー・ジャッジ・アンパイア各種		48

## 会長挨拶

公益財団法人広島県セーリング連盟

会長 山根恒弘



会員の皆様へ  
新年度にあたりご挨拶申し上げます。

今年は連盟創立70周年になります。昭和24年に2年後の戦後復興を目指す国民体育大会を目指して広島県ヨット連盟が創立されました。時の創立者の方々、今日まで支えてこられた多くの役員の方々、子供、学生、実業団、さらには障がい者のセーラー、サポーター、ボランティア、施設の管理者の方々、カープ球団、学校関係者、行政、寄付等で支えて頂いた企業の方々、心より敬意と感謝申し上げます。

アジア大会の平成7年に観音マリーナができ、その後広島大学の艇庫もできて活動が一体化し、広島のセーリングスポーツの普及・強化がされてきました。

昨年は、アジア初のハンザクラスワールド&インターナショナル・チャンピオンシップが24カ国186人の選手が参加し、障がい者と健常者が一緒にレースし、ボランティアが支える新しい時代のスポーツ大会が開催され、観音ハーバーにインクルーシブ社会が実現し、素晴らしい笑顔が花開きました。

施設も、所有艇も画期的に充実し、今後の夢が広がりました。  
世界はグローバル社会、情報化社会、第4次産業革命は更に進み、日本では高齢化社会に急速になります。新元号にもなります。来年には東京オリンピック・パラオリンピックが開かれます。

スポーツは新しい時代を切り開く力があります。  
セーリングスポーツは、インクルーシブ（共生）社会の先導役です。風の力で動くヨットは障がいの有無に関係なくレースを楽しめます。

都心から近く素晴らしい多島美の景観で、ユニバーサル施設のある観音マリーナは、レースを堤防から観戦でき、多数の各種ハンザ艇を保有し、多くのボランティアが集う、日本一の、更に世界のインクルーシブ（共生）セーリングの拠点に成り、国際平和祈念都市ヒロシマの大切な、重要な役割を担うことが期待されています。

私たちは、健常者も障がい者も、老人も子供も隔てなくセーリングを楽しみ、社会での自立が進み、競争から共生する平和な世界の実現に貢献したく思っています。

この夢の実現に取り組んで行きますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。  
今年が、皆様の命輝く年でありますよう祈念しています。

# 2019年度活動計画

公益財団法人 広島県セーリング連盟

専務理事 井川 史朗

会員の皆様には、日々楽しいセーリングライフをご過ごしておられること、お慶び申し上げます。色々な行事を計画し、皆様のご協力により成功裏に実施することができました。ありがとうございます。また、大きな事故も無く過ごしております、これも皆様一人一人の心がけの成果と考えております。安全は第一の基本です。声を掛け合い、意識を向上させていきたいと考えております。今後ともご協力よろしくお願ひします。

特に昨年度はハンザクラスマッチを開催しました。この大会には世界各国から多くの選手／サポート／観客が来場されました。会場の雰囲気は我々が目指してきた「障がいの有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し合いながら、共生する社会」を大いに感じる事が出来ました。この大会には、多くの団体／企業様にご支援を頂くと共に、運営役員やボランティアなど大変多くの方にご協力頂きました。この場をお借りしお礼を申し上げます。今後はこの大会の成功をステップにし、当連盟の発展につなげていきたいと考えております。ぜひ皆様のご協力をよろしくお願ひ致します。

## 【2019年度事業計画】

### 1.『公益目的事業』

#### (1) 地域におけるセーリングスポーツ・レクレーション活動の普及と振興事業

- ① 地域でのセーリング教室、海洋教室への協力（呉市海洋教室、福山市民レガッタ）
- ② 広島セーリングスクール体験会の実施
- ③ 企業、学校等を対象としたセーリング体験会（レクリエーション）の実施
- ④ 創立70周年記念事業（記念講演会等）の実施

#### (2) 障がい者を含むセーリングスポーツ・レクレーション活動の普及と振興事業

- ① 障がい者試乗会（広島市心身障害者福祉センター、廿日市特別支援学校など）
- ② 各地のハンザ大会等に参加し、各地域の仲間と交流を図り自立をめざす
- ③ ハンザやO.P.を使用し練習会等を通じて障がい者を含むセーリングの普及を行う
- ④ 「渚の交番」の整備についての検討

#### (3) 安全活動推進事業

- ① 安全講習会の実施（メンバーズミーティング）
- ② 救助艇の運行方法の講習と指導
- ③ 救助艇のマリーナ内での管理指導
- ④ 台風等、自然災害に対する指導
- ⑤ AED講習会の実施（水難救済会の会員としての活動）

#### (4) マリーナ利用事業（関連施設等の運営に対する援助及び参画事業）

- ① 施設の備品充当
- ② 海洋気象状況の情報提供
- ③ 競技艇・コーチボート運搬に使用するトレーラー及び備品用具の貸与
- ④ 県連艇の維持管理

#### (5) 大会等の開催、派遣事業及び育成強化等の競技力向上事業

##### ア. 競技会開催事業（年間レース日程の調整と決定）

- ① 主催事業

県春期選手権、夏期オープン選手権、会長杯、全日本チームレース、ひろしまピースカップ等

- ② 共同主催及び事業協力
  - ③ 競技艇計測・登録 ERS 更新講習会の開催、公式計測員養成のため計測講習会へ参加、
  - ④ 国際競技規則の運用事業 チームレースクリニック、レースマネージメントクリニックの開催ルール講習会の開催
  - ⑤ ジャッジ養成、資格認定講習事業
- イ. 派遣事業
- ① 大会役員、選手等派遣（国体、国体広島県選手団選考・派遣等）
  - ② 2020 東京オリンピックに向け、コアメンバーのスキルアップやトレーニングレースへの派遣
- ウ. 育成強化事業
- ① 茨城国体目標得点 30 点 中長期目標 30 点 総合 8 位
  - ② 国体選手強化計画実施（県体協補助事業）
  - ③ 技術力向上のため、優秀なコーチを招聘
  - ④ 日帰り練習会、県内合宿、県外合宿等の計画の立案と実施
  - ⑤ 選手の国内外の遠征申請
  - ⑥ 倫理におけるガイドラインの遵守
- (6) セーリングスポーツを通じて、国際交流の推進と関係団体との相互連携事業
- ① 海の祭典への協力
  - ② 國際ヨットラリーのイベント参画と応援

## 2.【活動拠点収益事業】

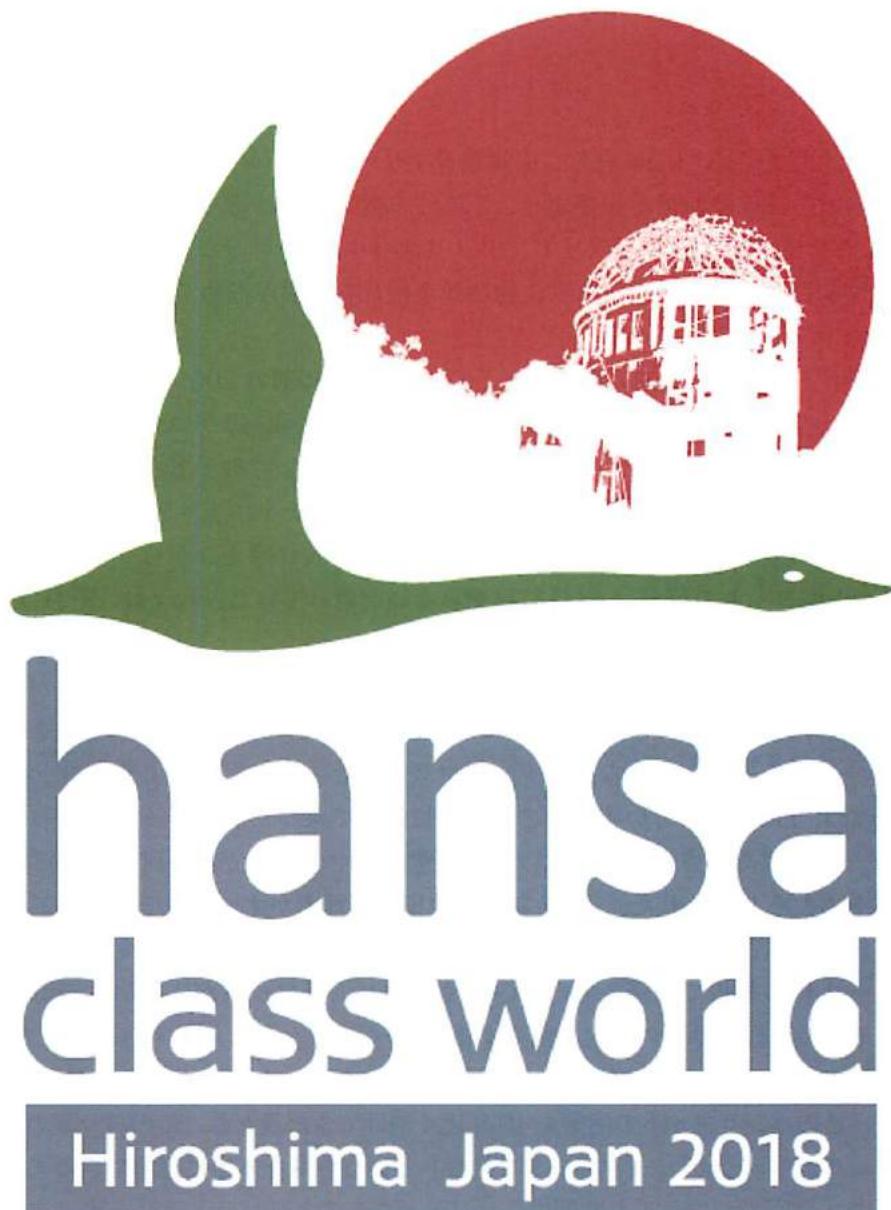
- (1) 自動販売機売上事業
- (2) 親水公園清掃事業

## 3.【会員向け事業】

- (1) JSAF、HSAF 会員が、楽しく、また生涯スポーツとして永くセーリング活動ができる支援事業
  - ① メンバーミーティングの開催、会報の発行、ホームページ・フェイスブックなどの管理
  - ② JSAF 会員登録、団体登録、バッジテスト認定登録、小安協などの諸手続き
  - ③ 表彰、感謝状の贈呈（県・市体協表彰推薦等）
  - ④ 資格取得希望者に研修会、講習会への参加を促し資格の取得推進
  - ⑤ 創立 70 周年記念式典、祝賀会の実施
- (2) 施設等整備推進プロジェクト
  - ① 船庫の建設推進
  - ② 75 周年中期ビジョン策定

## 4.【法人会計】

上記の 1 ~ 3 の事業の円滑なる運営事業



**2018 Hansa Class World & International Championships  
in Hiroshima, Japan**

**2018 ハンザクラスワールド &  
インターナショナルチャンピオンシップ広島大会**

# 2018ハンザクラスワールド & インターナショナルチャンピオンシップを終え

2018 ハンザクラスワールド実行委員会

総務局 藤田博久

2018年10月11日から8日間に亘り、広島観音マリーナにおいてハンザクラスワールド大会が開催された。24か国185名の選手が集まり、2年に一度開催されるハンザクラスのワールド大会である。過去、イギリス、オーストラリア、アメリカ（中止）、オランダ（2016年県連視察団）、そして今回アジア初の大会が広島に決まり、約2年半に亘る準備が進められた。

ハンザクラスヨットを我々（県連）が知ったのが今から12年前の2006年夏だった。それまで広島県セーリング連盟と障がい者との関わりは年に数回、障がい者のグループの申し入れで大型クルーザーに乗ってもらっていた。我々がずっと抱っこして乗ってもらうようなこともあった。ある日、来られた障がい者が、「ヨットって、もっと水にポチャポチャできるのかと思ったのに」と言われたことがあった。勿論、障がいの方方が左右に体を入れ替えながらタッキングしなければならないヨット（小型ヨットのディンギー）には乗れないと思っていた。我々は、「それは無理よねえ」と言うしかなかった。

偶然にもその翌年2006年にNPO岡山セーリング連盟スナメリの高野洋志・さやか夫妻をはじめとしたスナメリの会の皆さんのがハンザ（当時はアクセスと呼ばれていた）2.3 2艇を、観音まで岡山から陸送してきてもらった。大きなバスタブにマストとセールを付けたようなヨットというものが正直な感想だったように記憶している。そのヨットに初めて乗った時、ゆったりと前を向いたまま座り、煩雑な操作の不要な小さなヨットは、まるで童話の中の小舟で島を目指して冒険しているようなワクワク感をもたらしてくれた。2007年には沖田常務理事がオーストラリア、アデレード国際大会を視察し、「障がいの人たちが明るく、楽しくヨットに乗り、ボランティアの人たちの熱心な姿に感動した！」という報告で理事会でのGOをもらいハンザヨットが広島に入る海の道が開かれたのであった。その後の経緯は貞の都合で割愛するが、多くの方々がこれまでハンザの活動に関わり、外部の支援も広島南ロータリークラブ様、広島信用金庫様を始めとして継続的にいただく事になった。

しかしながら、このハンザヨットの活動を10年近く続けてきた我々も、このヨットの設計者であるクリス・ミッチェル氏の言う、「インクルーシブ社会」という意味を本当に理解できるまでには、多くの時間がかかった。今回の、ワールド開催中にリバティクラスとリバティ・サーボ（重度障がい者が電動で舵や帆を操作する）を別クラスとして表彰することにしていたが、それに対してクリスから注意を受けたのである。リバティ・サーボはあくまでもリバティクラスであり、重度の障がい者がリバティの選手としてレースが出来るように電動の装置を付けているだけのことであり、一緒のクラスである！ということであった。その中でサーボの選手だけをピックアップして順位をつけることは、何ら問題はないというものであった。

思えば、数年前のピースカップに健常者がエントリーされたのを見た我々は、「そりゃないじやろう。」というようなことを言っていたのである。ハンザヨットのレースは健常者も障がい者もなく同じ条件で行われる。それはヨットという風で動く乗り物を、スポーツとしてレースで使い、他のスポーツでは類を見ないものである。実は私も昨年の4月に初めての海外レースとしてオーストラリアはシドニーで開催された、ハンザクラス・オーストラリア選手権大会にエントリーした。私のエントリーした303クラスの一人乗りは22艇のエントリーがあり、最終成績は5位であったが、上位4艇のうち3艇は車椅子に乗る選手であった。それも最終レースは得意の軽風のレースであったが、私は100Kg級の選手の艇2ハイにフリーで抜かれた。障がいの有るなしは何のハンディキャップにもならない。あるのはヨットのセンスだけなのか!?私は愕然としたのであった。まさにインク

ルーシブな世界がそこにはあった。

そしてオーストラリアで感じたのは、障がいの横に健常者が居り、健常者の横に障がい者が居るという何の違和感もない空間があたり前のようにあった。バリアフリーな住環境、障がいを克服できる電動の車いすや、電動でリアゲートが開くクルマ、そして運転席まで移動して車いすの人が運転できるクルマでスーパー・マーケットへ買い物に行くことがあたり前になっている。バリアフリーな環境を作りましたと胸を張る我々日本は、山根会長の言葉ではないが周回遅れであることを認識して、これからインクルーシブな世界を目指して行かなければならぬ。これが、今回の2018ハンザクラスワールドで得た我々の宝だった。

## 大会概要

**大会名** 2018 ハンザクラスワールド &  
インターナショナルチャンピオンシップ広島大会

**大会開催期間** 平成30年10月11日(金) ~ 18日(木)

### 会場

広島観音マリーナ  
〒733-0036 広島県広島市西区観音新町4丁目14-6

**主催** 2018ハンザクラス実行委員会

### 参加国・地域 24

(オーストラリア・ブラジル・カナダ・チリ・中国・フィリピン・フランス・香港・  
インドネシア・アイルランド・イタリア・日本・韓国・マカオ・オランダ・  
ニュージーランド・ポーランド・ポルトガル・タイ・トンガ・シンガポール・  
イスラエル・イギリス・アメリカ合衆国)

### 参加選手 185名

**大会スローガン** 「命輝け！～ヒロシマから世界へ～」

障がいを中心とした国際スポーツ大会は広島では初めてであり、セーリングではアジア初となります。

また、観音マリーナでの国際大会は24年前の1994年アジア競技大会(12th Asian Games Hiroshima 1994)以来となります。

# 会場写真① 10月13日(土) [開会式]



大型テントの張られた開会式場



開会式の前にプラクティスレース



参加国の国旗が掲載される



大型テントの張られた開会式場



受付テントに集まる参加者



古田中学校吹奏楽部演奏



和太鼓天手鼓舞



(公財) 日本セーリング連盟 河野博文 会長



大和なゆたさんの開会宣言



司会の森山まさのさん（左端）はあびの会選手



湯崎英彦 広島県知事



松井一實 広島市長

## 会場写真② 10月13日(土) [開会式]



あびの会 佐々木亮選手の選手宣誓



山陽高校和太鼓部 山陽太鼓「弾」



深山英樹 広島商工会議所 会頭



渡 貞夫 セイラビリティ広島あびの会 会長

## 会場写真③ 10月16日(火) [ミッド・ウィーク・パーティー]



観覧席から間近に見えるレース海面



お茶席のサービス



エイミーさんはトランペットを足の指で演奏



安芸高田市 高猿神楽団



日本けん玉協会



参加選手がけん玉に挑戦



近畿大学工学部 空手道部



### 広島県産ヒノキ木製ベンチ

広島県産ヒノキを使い、宮島の大鳥居をイメージした木製ベンチです。2018ハンザクラスワールドの開催を記念して、広島県木材組合連合会・広島県森林組合連合会・広島貯木場株式会社が寄贈し、広島木材青年経営者協議会が作成を担当しました。

## 会場写真④ 10月18日(木) [表彰式・開会式]



クリス・ミッケル氏には記念の盾

運営スタッフの皆さん

2020年開催国の中米  
ニューポートビーチへ

## 大会役員・組織

大会名誉会長	岸田文雄	自由民主党政務調査会長
大会会長	河野博文	公益財団法人日本セーリング連盟会長
大会副会長	Bob Schahinger	国際ハンザクラス協会会長
顧問	湯崎英彦	広島県知事
	松井一實	広島市長
	深山英樹	広島商工会議所会頭
	越智光夫	広島大学学長
実行委員長	山根恒弘	公益財団法人広島県セーリング連盟会長(広島県障害者スポーツ協会会長)
実行副委員長	貝道和昭	日本ハンザクラス協会会長
	永野正雄	広島日豪協会会长
	渡 貞夫	公益財団法人広島県セーリング連盟副会長(セイラビリティ広島 会長)
実行委員会総括	井川史朗	(公財)広島県セーリング連盟
大会アドバイザー	荒瀬尚美	(公財)広島県セーリング連盟
実行委員会事務局	沖田勇三	(公財)広島県セーリング連盟
	土田芳裕	(公財)広島県セーリング連盟
総務局局長	藤田博久	(公財)広島県セーリング連盟
総務部会部会長	應本哲夫	(公財)広島県セーリング連盟
広報部会部会長	藤田博久	(公財)広島県セーリング連盟
ボランティア部会部会長	前田慶明	(公財)広島県セーリング連盟
看護部会部会長	平賀裕之	(公財)広島県セーリング連盟
施設局局長	小寺宏明	(公財)広島県セーリング連盟
施設部会部会長	小寺宏明	(公財)広島県セーリング連盟
催事部会部会長	野中喜雄	(公財)広島県セーリング連盟
サービス部会部会長	西野倫代	(公財)広島県セーリング連盟
輸送局局長	丸川義則	(公財)広島県セーリング連盟
競技艇部会部会長	中島和弘	(公財)広島県セーリング連盟
運航部会部会長	中崎 篤	(公財)広島県セーリング連盟
宿泊部会部会長	丸川義則	(公財)広島県セーリング連盟
競技局局長	松尾英樹	(公財)広島県セーリング連盟
レース部会部会長	松尾英樹	(公財)広島県セーリング連盟
プロテスト部会部会長	藤井裕文	(公財)広島県セーリング連盟
テクニカル部会部会長	高橋邦夫	(公財)広島県セーリング連盟
強化育成部会部会長	高橋邦夫	(公財)広島県セーリング連盟

## 大会スケジュール Event Schedule

10.11 (Thu)	13:00~17:00 受付・計測	Registration /Measurement
10.12 (Fri)	10:00~17:00 受付・計測	Registration /Measurement
10.13 (Sat)	10:00~15:00 受付・計測	Registration /Measurement
	16:00~18:00 開会式	Opening Ceremony
10.14 (Sun)	10:00 レース開始(1人乗り) Start of the race (Single)	13:00 レース開始(2人乗り) Start of the race (Doubles)
10.15 (Mon)	10:00 レース開始(2人乗り) Start of the race (Doubles)	13:00 レース開始(1人乗り) Start of the race (Single)
10.16 (Tue)	10:00 レース開始(1人乗り) Start of the race (Single)	13:00 レース開始(2人乗り) Start of the race (Doubles) 17:00 ミッドウィークパーティー Mid Week Party
10.17 (Wed)	10:00 レース開始(2人乗り) Start of the race (Doubles)	13:00 レース開始(1人乗り) Start of the race (Single)
10.18 (Thu)	10:00 レース開始(1人乗り) Start of the race (Single)	13:00 レース開始(2人乗り) Start of the race (Doubles) 16:00 表彰式 閉会式 Awards Ceremony

Hansa 2.3 Single Person

Final Results

Pos	Club	Nation	SAIL No	Name	Race										Points	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	Total	Net
1	GOLD COAST SAILING CLUB	Australia	241	Chris Ruston	(15)	2	1	1	1	3	5				28.0	13.0
2	Frensham Pond Sailability	Great Britain	2111	Lindsay Burns	1	4	6	2	(9)	1	2				25.0	16.0
3	Sailability Gold Coast	Australia	191	Neil Rowsthorn	4	3	(7)	6	3	2	1				26.0	19.0
4	セイラビリティ三重	Japan	920	Yui Fujimoto	2	1	4	(7)	4	4	6				28.0	21.0
5	SINGAPORE DISABILITY SPORTS COUNCIL	Singapore	2637	Qian Yin Yap	6	(7)	2	3	2	6	4				30.0	23.0
6	Sailability NSW Crystal Bay	Australia	346	Allan Jones	14	5	3	4	(16)	5	3				50.0	34.0
7	ENVA	Portugal	1553	Luisa Graca	7	10	5	10	(15)	7	9				63.0	48.0
8	セイラビリティ三重	Japan	925	Akira Nishiyama	11	(18)	13	8	7	9	8				74.0	56.0
9	Canberra Yacht Club	Australia	88	Allister Peek	(20) OCS	6	14	5	5	14	18				82.0	62.0
10	セイラビリティ広島あびの会	Japan	1524	Shirichi Takemura	3	17	10	9	(20) DNF	16	10				85.0	65.0
11	Latrobe Valley yacht Club	Australia	1814	Mark Thorpe	10	14	(15)	15	12	8	7				81.0	66.0
12	ビッコラくらぶ	Japan	3051	Kazutami Motomiya	(17)	9	8	14	11	15	11				85.0	68.0
13	ENVA	Portugal	1040	Pedro Carvalho	12	13	9	11	(14)	10	13				82.0	68.0
14	Bali sports Foundation	Indonesia	3035	Fandi AHMAD	8	11	(20) OCS	13	10	11	16				89.0	69.0
15	東京都障害者セーリング連盟	Japan	3052	Shintaro Kunimatsu	9	12	12	(17)	8	12	17				87.0	70.0
16	B&G池田海洋クラブ	Japan	1652	Tetsuo Suyama	5	16	(17)	12	13	17	12				92.0	75.0
17	セイラビリティ広島あびの会	China	3030	Zhou Teng	(16)	15	16	16	6	13	15				97.0	81.0
18	セイラビリティ広島あびの会	Japan	1657	Noriko Irie	19 DPI	8	11	18	(20) DNF	20 DNF	14				110.0	90.0
19	セイラビリティ広島あびの会	Poland	1525	Adam Szymanski	13 DNC	20 DNC	20 DNC	20 DNC	20 DNC	20 DNC					133.0	113.0

Race chairman	Matsuo Hideki	DATE	10/14	10/15	10/15	10/16	10/17	10/18	10/18					
		Weather	晴れSunny											
		Wind direction	170	210	210	350	220	220	220					
Protest chairman	Lynne Beal	Wind speed (kt)	4	6	7.7	8	8	2	5.3					
		Start	11:45:00	13:35:00	14:30:00	10:25:00	14:40:00	11:25:00	12:20:00					
		Finish of Top	12:15:00	13:55:53	15:02:34	10:55:47	15:13:25	11:54:08	12:50:01					
Records manager	Matsuo Megumi	Race end time	12:30:00	14:16:14	15:13:42	11:10:47	15:28:25	12:09:00	12:57:49					
		Number of participants	19 boats	19 boats	19 boats	19 艇	19 艇	19 艇	19 艇					
		Number of departures	19 boats	18 boats	18 boats	18 艇	18 艇	18 艇	18 艇					

### ハンサ2.3の紹介



乗船人数：1人乗り 形 状：  
帆 数：1枚帆  
全 長：2.3m  
重 量：70kg



## Hansa 303 Single Person

Final Results

Pos	Nation	Club	SAIL No	skipper	Race										Points		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	Total	Net	
1	Poland	AKS OSW	2904	Piotr Cichoński	(3)	1	3	(4)	2	1	2	3	1		20.0	13.0	
2	Australia	Wynyard Yacht Club	2685	Christopher Symonds	(7)	2	4	1	3	(5)	1	1	2		26.0	14.0	
3	Japan	東京都ヨット連盟	2532	Takumi Niwa	1	3	2	3	(7)	4	3	6	(44) UFD		73.0	22.0	
4	Poland	AKS OSW	2896	Waldemar Woźniak	6	(11)	6	5	1	2	(11)	2	3		47.0	25.0	
5	Hong Kong	Sailability Hong Kong	2919	Chi Yueng Pak	4	4	1	6	(12)	3	7	7	(11)		55.0	32.0	
6	Japan	セイラビリティ江ノ島	3009	Kazumi Iwane	2	10	12	7	(24)	17	4	(21)	8		105.0	60.0	
7	Singapore	Sailability SDSC	2381	Aaron Yong Quan Per	10	6	14	(22)	4	(44) DNF	19	5	7		131.0	65.0	
8	Korea	Korea Disabled Yacht Federation	3019	Hogaean Song	15	13	5	2	15	10	6	(44) DNF	(44) DNC		154.0	66.0	
9	France	VOILE HANDI VALIDE FRANCE	2440	Magali Morainas	5	8	9	14	18	(44) DNF	9	9	(20)		138.0	72.0	
10	Great Britain	Southwest Scotland Sailability	2464	Jessica Campbell	14	(28)	(25)	10	5	12	14	4	14		126.0	73.0	
11	Poland	AKS OSW	2642	Olga Gomas-Grudzien	(19)	7	10	13	(16)	16	13	10	5		109.0	74.0	
12	Japan	セイラビリティ三重	1522	So Fujimoto	11	5	7	8	(22)	15	(18)	14	15		115.0	75.0	
13	Philippines	Sailability Philippines	1	Cherrie Linpin	8	16	21	9	11	(44) DNF	5	(27)	9		150.0	79.0	
14	Australia	Ballarat	788	Johan Moloney-Wise	(20)	19	(29)	11	14	14	10	8	4		129.0	80.0	
15	Australia	Royal Geelong Yacht Club	860	Alison Weatherly	18	17	(24)	19	(44) DNF	8	16	11	12		169.0	101.0	
16	Australia	Belmont Sailability	1716	John Garbutt	(26)	20	13	12	13	(44) DNF	15	17	13		173.0	103.0	
17	Chile	Club Clase Hansa Chile	2858	Azul Viveceta	17	21	16	18	(44) DNF	9	(22)	13	10		170.0	104.0	
18	Great Britain	Frensham Pond Sailability	2747	Margaret Foreman	25	9	(27)	26	8	6	(44) DNF	26	6		177.0	106.0	
19	Philippines	Sailability Philippines	2	Clytie Bernardo	24	12	17	17	(44) DSQ	(44) DNF	8	15	22		203.0	115.0	
20	Korea	Korea Disabled Yacht Federation	3004	Changhoon Lee	21	14	15	38	6	7	17	(44) DNC	(44) DNC		206.0	118.0	
21	Chile	Club Clase Hansa Chile	2856	Thomas Elton	16	15	20	15	17	(44) DNF	23	12	(29)		191.0	118.0	
22	Japan	セイラビリティ江ノ島	3010	Yoko Sone	23	(27)	22	27	21	13	(44) DNF	18	18		213.0	142.0	
23	Brazil	Clube Almirante Alexandrino	2817	Estevao Lopes	(31)	31	18	16	23	(44) DNF	20	23	16		222.0	147.0	
24	Japan	セイラビリティ江ノ島	3011	Naoki Maruyama	9	22	19	20	(44) DNF	(44) DNF	21	22	44 UFD		245.0	157.0	
25	Japan	sailability osaka	2862	Mitsuhiko Sumitani	42	23	11	33	20	(44) DNF	(44) DNF	19	17		253.0	165.0	
26	Korea	Korea Disabled Yacht Federation	3014	Beomjun Park	37	25	8	21	19	(44) DNF	12	(44) DNC	(44) DNC		254.0	166.0	
27	Netherlands	Finy Teitsma	2565	Finy Teitsma	27	24	23	30	(44) DNF	(44) DNF	24	20	28		264.0	176.0	
28	Australia	Alluvia Wedding Yacht Club, Vic, Australia	2206	Stewart Cathie	28	30	31	23	9	(44) DNF	(44) DNF	33	32		274.0	186.0	
29	Thailand	Thailand Entry	3025	Kevin Scott	13	34 DPI	33	25	(44) DNF	(44) DNF	16	23			276.0	188.0	
30	Australia	sailability Hobart	2236	Edward (ted) Moule	29	18	26	24	(44) DNF	(44) DNF	28	21			278.0	190.0	
31	Japan	セイラビリティ三重	2220	Koushi Ikemura	12	29	34	31	(44) DSQ	(44) DNF	30	19			287.0	199.0	
32	France	FRANCE	655	Caroline Maury	33	33	39	37	10	(44) DNF	(44) DNF	24	24			288.0	200.0
33	Korea	Korea Disabled Yacht Federation	3020	Sangun Lee	22	36	32	34	(44) DNF	11	(44) DNF	44 DNC	44 DNC		311.0	223.0	
34	Japan	sailability osaka	2863	Takeshi Okamoto	34	(44) DSQ	28	32	(44) DNF	(44) DNF	25	25			320.0	232.0	
35	Chile	Club Clase Hansa Chile	2857	Anibal Vivaceta	30	38	35	29	(44) DNF	(44) DNF	34	26			324.0	236.0	
36	Australia	Docklands Yacht Club	222	Louis Patterson	38	37	37	28	(44) DNF	(44) DNF	29	27			328.0	240.0	
37	Japan	セイラビリティ広島あびの会	3001	Yoshihiro Moriya	35	35	36	35	(44) DPI	(44) DNF	32	33			338.0	250.0	
38	Australia	Docklands Yacht Club	210	David Hales	40	34	30	39	(44) DNF	(44) DNF	35	31			341.0	253.0	
39	Canada	Ottawa	3008	Keith Hobbs	36	39	40	40	(44) DNF	(44) DNF	31	30			348.0	260.0	
40	Japan	セイラビリティ広島あびの会	3002	Nontaka Nagao	32	26	38	36	(44) DNF	(44) DNF	44 DNC	44 DNC			352.0	264.0	
41	Australia	Sailability Shoalhaven	2873	Thomas Drivas	41	40	42	41	(44) DNF	(44) DNF	36	35			367.0	279.0	
42	Indonesia	Bali sports Foundation	3016	Daeng UMAR	39	(44) DNC	41	(44) DNF	44 DNF	44 DNF	37	34			371.0	283.0	
43	Australia	Sailability Shoalhaven	3128	Jonathon McGowan	(44) DNC	(44) DNC	44 DNC	44 DNC	44 DNC	44 DNC	44 DNC	44 DNC			396.0	308.0	

Race chairman	Matsuo Hideki	DATE	10/14	10/15	10/15	10/16	10/16	10/17	10/17	10/17	10/18	10/18	
		Weather	晴れ/Sunny										
Protest chairman	Lynne Beal	Wind direction	170	210	210	350	355	60	220	220	220	220	
		Wind speed (kt)	4	6	7.7	8	4	2	5	2	5		
Grading score chief	Matsuo Megumi	Start	11:40:00	13:25:00	14:20:00	10:15:00	11:05:00	12:20:00	15:00:00	11:55:00	12:45:00		
		Finish of Top	12:08:53	12:55:53	14:46:59	10:38:23	11:25:20	12:52:22	19:30:46	12:22:25	13:12:49		
		Race end time	12:22:10	14:10:53	15:01:59	10:53:23	11:41:20	14:07:22	15:45:46	12:55:16	13:27:30		
		Number of participants	43 boats	43 艇									
		Number of departures	42 boats	42 艇	42 艇	42 艇	42 艇	41 艇	41 艇	37 艇	43 艇		

### ハンザ303の紹介

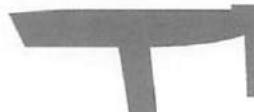


乗船人数：1人又は2人乗り 形 状：

帆 数：2枚帆

全 長：3.03m

重 量：85kg



Hansa 303 Two Person						Final Results												
Pos	Nation	SAIL No	Club	skipper	crew	Race										Points		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	Total	Net	
1	Japan	2593	Team Sige	Yuna Nakayama Sarina Shibata		2	2	(9)	(12)	4	4	2	1			36.0	15.0	
2	Australia	2685	Wynyard Yacht Club	Michael Darby Christopher Symonds		1	4	2	1	(5)	5	(8)	3			29.0	16.0	
3	Switzerland	2262	PluSport / Sailability.ch	Patrick Maurer Christian Hiller		6	3	4	(14)	(9)	1	4	4			45.0	22.0	
4	Japan	1664	ピッコラくらぶ	Kenji Sasahara Yumiko Suzuki		(26)	7	(34)	4	7	2	1	14			95.0	35.0	
5	France	2840	Base Nautique de Sciez	Gilles Guyon Oliver Duerckx		4	8	1	10	11	(10)	(20)	6			79.0	40.0	
6	Singapore	2381	SINGAPORE DISABILITY SPORTS COUNCIL	Wei Qiang Jovin Tan Yong Quan Aaron Per		5	9	8	(18)	1	13	(25)	5			84.0	41.0	
7	Netherlands	2708	Team NL	Akko van der Veen Liza van der Veen		9	15	5	2	3	(18)	(21)	9			82.0	43.0	
8	France	2838	Cev berck	Christine Gorisse Gatan Gelee		11	(17)	(24)	8	13	7	10	2			92.0	51.0	
9	Italy	2709	Lega Navale Monfalcone	Luca Palmeri Pardo Palmeri		(18)	1	18	11	6	11	15	(36)			116.0	62.0	
10	Japan	732	セイラビリティ三重	Yūji Kageyama Osamu Goriki		(30)	5	11	(29)	12	12	6	16			121.0	62.0	
11	France	2355	CEV Berck	Stephane Colier Lucien Bemont		8	16	12	(24)	2	9	(30)	17			118.0	64.0	
12	Australia	733	Mordialloc Sailing Club Inc	Stephen Griffiths Christine Elliott		3	19	10	9	(24)	(24)	11	12			112.0	64.0	
13	Japan	3005	ピッコラくらぶ	Eiko Takeshita Kyoko Sakamoto		13	(23)	20	8	10	3	17	(32)			124.0	69.0	
14	Japan	2594	Team Sige	Ryoeko Shibata Rimina Shibata		(53)	DNF	18	16	3	(23)	20	5	13		151.0	75.0	
15	Australia	1594	Sailability NSW Cobrard Branch	Sarah Plunkett John Sanderson		17	6	3	(53)	DSQ	22	8	(33)	20		162.0	76.0	
16	Australia	2140	Sailability NSW Cobrard Branch	Nathaniel Guan Margaret Sanderson		25	14	7	21	8	6	(40)	(26)			147.0	81.0	
17	Philippines	001	Sailability Philippines	Clytie Bernardo Cherie Pilipin		16	10	15	13	(19)	16	(23)	11			123.0	81.0	
18	France	2652	CEV Berck	Jean-Philippe Lepretre Frédéric Magnier		15	12	13	16	15	14	(34)	(25)			144.0	85.0	
19	Switzerland	1208	PluSport / Sailability.ch	Willi Lutz Claudia Schmid		7	25	(33)	17	(26)	10	18	18			154.0	95.0	
20	Switzerland	2707	PluSport / Sailability.ch	Denise Christian Elena Bosshard		23	11	6	19	(31)	(36)	24	21			171.0	104.0	
21	Australia	789	Latrobe Valley yacht Club	Sarah Millsom Craig Millsom		20	(27)	21	5	(34)	25	14	22			168.0	107.0	
22	Japan	3043	セイラビリティ江ノ島	Sachiko Aoki Mitsutaka Aoki		14	13	22	15	25	23	(41)	(29)			182.0	112.0	
23	Switzerland	2702	PluSport / Sailability.ch	Ian Keeble Alex Keeble		19	22	30	7	20	(53)	(53)	OCS	19		223.0	117.0	
24	France	2642	CEV Berck	Jérôme Dard Jérémie Chauchoy		22	(28)	25	27	21	17	(29)	10			179.0	122.0	
25	Australia	303	ピッコラくらぶ	Rie Ariyoshi Alyse Saaby		24	26	(35)	23	(32)	21	9	23			193.0	126.0	
26	Australia	685	Port Adelaide Sailing Club	Wayne Crabb Jason Ewens		(32)	(35)	28	28	14	28	12	30			207.0	140.0	
27	Australia	1990	Sailability Gold Coast	Neil Rowsthorn Peter Armstrong		10	29	14	32	30	(43)	28	(39)			225.0	143.0	
28	Japan	3003	セイラビリティ広島あいの会	Ayato Suzuki Osamu Suzuki		12	(32)	32	30	28	15	(35)	27			211.0	144.0	
29	Japan	2822	セイラビリティ広島あいの会	Futo Kakuchi Eri Kakuchi		(40)	34	31	(36)	16	27	7	31			222.0	146.0	
30	Japan	1522	セイラビリティ三重	Itsu Mizuno Allister Peter		31	(33)	27	22	27	(32)	13	28			213.0	148.0	
31	Hong Kong	2818	Sailability Hong Kong	Lee Purdy Joel Saurez Felipe		(39)	21	(37)	31	37	31	22	7			225.0	149.0	
32	Japan	3044	セイラビリティスナメリ	Hideaki Yamamoto Iipei Yamamoto		28	30	26	20	(38)	35	16	(53)	DSQ		246.0	155.0	
33	Chile	2856	Club Clase Hansa Chile	Thomas Elton Paula Miranda		(40)	DPI	24	17	25	36	(38)	27	35		243.0	164.0	
34	Japan	3038	ピッコラくらぶ	Hirosiro Shibaï Haruko Shibaï		33	31	29	34	18	(41)	26	(53)	UFD		265.0	171.0	
35	Australia	478	Sailability Port Stephens	Colin Alderton Bradley Alderton		34	(40)	19	35	17	33	(43)	37			258.0	175.0	
36	Japan	2775	B&G池田海洋クラブ	Yusuke Kohno Tsubasa Yamada		45	38	(53)	DNF	44	(46)	44	3	8		281.0	182.0	
37	Japan	3042	ピッコラくらぶ	Hisashi Jibiki Mao Jibiki		36	(39)	36	(38)	35	29	19	33			265.0	188.0	
38	France	2394	CEV Berck	Gery Caremel Virginia Lavigne		21	37	38	(42)	40	38	(46)	15			277.0	189.0	
39	Japan	3045	東京都障害者セーリング連盟	Shinya Yamamoto Kakeru Furukawa		43	20	(53)	DNF	33	(45)	30	44	24		292.0	194.0	
40	Chile	2857	Club Clase Hansa Chile	Azul Vivaceta Arbel Vivaceta		(42)	36	23	26	33	(42)	42	34			278.0	194.0	
41	Hong Kong	2932	Sailability Hong Kong	Alexandra Jones Catlin Bush		29	42	(53)	DNF	37	39	26	37	(53)	DNF	316.0	210.0	
42	Australia	463	Royal South Australian Yacht Squadron	Kathryn Crisell Deirdre Schahinger		(44)	41	(53)	DNF	40	29	34	36	42			319.0	222.0
43	Australia	3128	Sailability Shoalhaven	Jonathon McGowan Ryan Tolley		(49)	47	(53)	DNF	39	44	22	31	40			325.0	223.0
44	Japan	2359	セイラビリティ広島あいの会	Akiho Tonda Yuta Tonda		35	(51)	(53)	DNF	43	43	40	38	38			341.0	237.0
45	Japan	2358	セイラビリティ広島あいの会	Keisho Fujieda Mutsumi Fujieda		27	(45)	(53)	DNF	45	42	45	39	43			339.0	241.0
46	Australia	2873	Sailability Shoalhaven	Hayley Millson Jade Corcoran		(48)	44	(53)	DNF	46	41	37	45	41			355.0	254.0
47	Japan	2663	sailability osaka	Takeshi Okamoto Shigetaka Nakamura		41	46	(53)	DNF	41	(49)	46	47	44			387.0	265.0
48	Hong Kong	2058	TREATS / Sailability Hong Kong	Lui Wing Kit Shun Ka		47	49	(53)	(53)	DNF	48	53	52	53			388.0	282.0
49	France	2352	cev Berck	Sbastien Grand Marie-Christine Rigaud		46	50	(53)	DNF	47	47	48	45			389.0	283.0	
50	Hong Kong	2344	Caritas Lok Yi School	Mo Sze Au Anfah Karademir		38	43	(53)	(53)	53	53	53	53	53			399.0	293.0
51	Hong Kong	2254	Caritas Lok Yi School	Wing Hang Kwok Siu Sum Ye		50	48	(53)	(53)	53	53	53	53	53			416.0	310.0
52	Portugal	2036	Portugal	Pedro Reis Francisco Fernandes		(53)	(53)	53	53	53	53	53	53	53			424.0	318.0

Race chairman	Matsuuo Hideki	Date	12-Oct	14-Oct	15-Oct	16-Oct	16-Oct	16-Oct	17-Oct	17-Oct
		Weather	晴れ/Sunny	曇り/Cloudy	曇り/Sunny	晴れ/Sunny	曇り/Cloudy	曇り/Cloudy	晴れ/Sunny	晴れ/Sunny
Protest chairman	Lynne Beal	Wind Direction	210	230	80	215	180	200	70	80
		Wind speed (kt)	8	7.8	4.5	5	7	5	8	6
		Start time	13:35:00	14:35:00	10:05:00	13:10:00	14:10:00	15:15:00	10:05:00	11:35:00
		First boat finish time	14:08:30	15:03:09	10:40:00	13:43:41	14:41:26	15:36:47	10:23:07	11:53:33
Grading score chief	Matsuuo Megumi	Race and time	14:21:30	15:14:20	10:55:06	13:58:41	14:53:21	15:51:47	10:47:34	12:08:33
		Number of participating boats	52	52	52	52	52	52	52	52
		Number of entrants	51	51	51	49	49	49	49	49

Liberty Single Person										Final Results						
Pos	Nation	Club	セールNo	class	skipper	Race									Points	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	Total
1	Australia	Royal South Australian Yacht Squadron	853		Bob Schahinger	2	2	(9)	1	2	(19)	1	9	1	46.0	18.0
2	France	CLUB NAUTIQUE PYRENEEN	1015		Gerard Eychenne	7	5	2	(14)	9	1	2	(14)	4	58.0	30.0
3	Netherlands	WVZeevolde	2010	servo	Vera Voorbach	8	1	1	(18)	14	5	3	2	(35) UFD	87.0	34.0
4	Australia	Ballerst	2763		Charles Weatherly	5	3	5	(7)	(11)	7	7	5	2	52.0	34.0
5	Great Britain	Rutland Sailability	3068		Valerie Millward	6	4	(35) OCS	4	3	6	4	(12)	11	85.0	38.0
6	New Zealand	Sailability Auckland (Royal Akarana YC)	2377		Tony Vaka	(17)	7	(10)	9	8	3	9	3	5	71.0	44.0
7	Great Britain	Whitehairs SC	2402		David Durston	1	6	(35) OCS	2	1	13	14	10	(35) UFD	117.0	47.0
8	Japan	(公財)広島県セイリング連盟	2817		Motohiro Hirai	4	15	4	(35) OCS	4	4	6	(19)	12	103.0	49.0
9	Hong Kong	Sailability Hong Kong	2736		Yuen Wai Foo	15	(23)	3	5	6	(22)	10	7	7	98.0	53.0
10	Australia	Sailability Port Stephens	2753		Jason Ehres	3	8	(30)	10	(17)	10	8	11	9	106.0	59.0
11	Australia	docklands yacht club	1019		Russell Phillips	12	9	14	(17)	(16)	12	5	4	6	95.0	62.0
12	New Zealand	NZ Hansa Class	2246		Paul Speight	9	10	7	12	(35) DNF	2	13	18	(35) UFD	141.0	71.0
13	Great Britain	Frensham Pond Sailability	2557		Paul Phillips	19	(21)	8	6	7	11	15	(23)	14	124.0	80.0
14	Netherlands	WVZeevolde	1200	servo	Hanneke Deenen	11	26	11	20	(35) DNF	(28)	12	8	3	154.0	91.0
15	New Zealand	NZ Hansa Class	1612		Brendan Tournelle	23	(24)	22	3	10	8	17	13	(24)	144.0	96.0
16	Japan	セイラビリティ広島あびの会	2774	servo	Takaya Aono	13	(20)	17	(25)	15	9	18	6	19	142.0	97.0
17	Japan	セイラビリティ広島あびの会	2933		Nobuhiko Sano	(27)	14	16	16	12	16	(19)	16	10	146.0	100.0
18	IRL	Rutland Sailability	33		Pat Crowley	(21)	19	15	19	(35) DNF	15	21	1	15	161.0	105.0
19	New Zealand	Sailability Auckland (Royal Akarana YC)	1610	servo	Helena Horswell	10	(27)	12	8	(35) DNF	20	20	22	20	174.0	112.0
20	Great Britain	Rutland Sailability	2600		Diana Faulks	(26)	(25)	13	13	5	14	22	25	25	168.0	117.0
21	Japan	セイラビリティ広島あびの会	2934	servo	Ryo Sasaki	22	11	18	15	(35) DNF	23	(35) UFD	20	13	192.0	122.0
22	Australia	Port Denison Yacht Club/Docklands Yacht Club	1090		Robert Eddie	(28)	17	26	21	(35) DNF	17	23	15	17	199.0	136.0
23	Netherlands	Holtrop	2268	servo	Sefke Jan Holtrop	(30)	18	6	26	13	29	(35) UFD	24	26	209.0	144.0
24	Australia	Royal Perth Yacht Club	1068		Robert Crofts	14	22	24	23	(35) OCS	26	(27)	17	23	211.0	149.0
25	New Zealand	Sailability Auckland (Royal Akarana YC)	1702		John Buchanan	20	29	20	24	(35) DNF	21	(35) UFD	30	8	222.0	152.0
26	Australia	Arne	942	servo	Arne Bambrook	(35) DNO	28	28	30	(35) DNF	18	11	28	22	233.0	163.0
27	Macau	Sailability Hong Kong but representing Macau	2783		Wun Wua Wong	25	31	27	11	(35) DNF	(35) DSO	16	28	26	234.0	184.0
28	Australia	Sailability NSW	855		Robert Bambrook	(35) DNO	13	19	28	(35) DNF	29	21	21	21	236.0	168.0
29	Japan	セイラビリティ広島あびの会	2976		Masano Moriyama	24	12	29	27	(35) DNF	24	24	(32)	27	234.0	167.0
30	Hong Kong	Sailability Hong Kong	2792		Tsun Ming Chan	16	16	21	29	(35) DNF	(35) DNF	25	31	29	237.0	167.0
31	Australia	Docklands Yacht Club	1005		Shauna Phillips	18	30	23	(31)	(35) DNF	27	28	27	16	235.0	189.0
32	America	BAADS	1060		E. Garville LeRoy	31	(32)	25	22	(35) DNF	25	26	29	18	243.0	176.0
33	Japan	sailability osaka	1014		Hiroshi Oda	(35) DSQ	35	35	35	(35) RET	(35) DNF	(35) DNF	(35) DNF	(35) UFD	315.0	245.0
	Great Britain	Frensham Pond Sailability	1010		Tessa Watkiss	(35) DNC	(35) DNC	35	35	(35) DNC	(35) DNC	(35) DNC	(35) DNC	(35) DNC	315.0	245.0
						DATE	10/14	10/15	10/16	10/17	10/12	10/17	10/18	10/19		
						Weather	曇れ/Sunny	曇れ/Sunny	曇れ/Sunny	曇れ/Sunny	曇れ/Sunny	曇れ/Sunny	曇れ/Coudy	曇れ		
						Wind direction	170	210	210	350	350	80	220	220		
						Wind speed (m/s)	4	6	7.7	8	4	2	1.2	5		
						Start	11:33:00	13:10:00	14:30:00	10:59:00	13:11:00	13:19:00	14:59:00	11:43:00	12:35:00	
						Finish of Top	11:58:47	12:43:47	14:24:30	10:29:08	11:21:15	12:38:29	15:18:03	12:13:24	13:03:12	
						Race end time	12:05:36	13:49:26	14:49:56	13:44:08	11:38:15	13:53:29	15:33:03	12:29:24	13:18:12	
						Number of participants	34 boats	34 boats	34 boats	34 boats	34 boats	34 boats	34 boats	34 boats	34 boats	
						Number of departures	31boats	33 boats	23 boats	32 boats	33 boats	33 boats	33 boats	33 boats	33 boats	

## Libertyの紹介



乗船人数：1人乗り

帆 数：2枚帆

全 長：3.6m

重 量：150kg



# 2018ハンザワールドからの贈り物

2018 ハンザクラスワールド実行委員会

事務局 沖 田 勇 三

大会が終わり、今、あの大会は何だったのだろうと思う。勢いよく引き受けたものの、いざやるとなると何から始めたらいいものか、準備期間2年半、自分の無力さ、能力のなさを何度も味わっただろうか。今更やめるわけにもいかず、眼前的仕事をただがむしゃらにやるしかなかった。しかし、多くの人達がそれぞれの部署で作業をしてくださり、最善の仕事をしてくださったこと、大会の主旨に賛同くださり協賛してくださったこと、素晴らしいユニバーサル施設にしてくださったことで、立派な大会となりました。特に、山根会長の渾身の知力と果敢な行動のお陰だと思います。大会を顧みて、この大会が残してくれた大切な贈り物を記してみました。

## 感動を与えた開会宣言と選手宣誓

2018年10月10日16時、大和なゆたさんの、力強い開会宣言があった。

「私は、生まれつき常に介護が必要な重度の障がいがあります。どうして生きていけば良いか、悩み苦しんだ時にハンザに出会いました。普通の椅子にさえ座ることができない私を、ハンザは優しく包むように、海の楽しさを教えてくれました。いろいろなことにチャレンジする勇気が湧き、生きる喜びを見つけました。私の新しい人生の贈り物をハンザからいただきました。心より感謝申し上げます。この大会が沢山のひとたちに人生の贈り物があることを願って「2018 ハンザクラスワールド&インターナショナルチャンピオンシップ」の開会を宣言します。」

次に、佐々木亮君が、右手を高らかに上げ、「私たちは、どんな時もスポーツmanshipを忘れず、風が強かろうが弱かろうが雨が降かろうが降るまいが、文句を言わないのと同様に、この大会を楽しみ、安心・安全な大会にすることを誓います。」と選手宣誓をした。

600人の観衆がこの言葉と直向きな声に感動し、目に涙が浮かんでいた。正に、ハンザの神髄を語ってくれた。記憶に残る素晴らしい大会になると確信した。

## ハンザワールド広島開催について

2015年11月、日本ハンザクラス協会貝道会長より、国際ハンザクラス協会から、2018ハンザクラスワールドを日本でやらないかとメールが来ているとの話が始まりである。

じゃあ、広島でやりますかと、気軽に言ったことから難儀が始まるのであるのですが。

2016年1月末、国際ハンザクラス協会へ開催意志表明書を英文にて提出する。3月15日に、2018ハンザクラスワールド広島開催が決定したとメールが来た。さすれば、2016年6月にオランダのメデムブリックで開催されるハンザクラスワールドを7名で視察しに行く。大会の中日に、山根会長とオランダ領事一等書記官が「広島への参加を募るプレゼンテーション」を熱く語りました。DVDで広島を紹介しました。

## 協賛金を集めている間に、どんどん大きく化けていきました

オランダから帰国し、本格的に準備を始める。大会に一体全体いくらかかるのか。会長の指示の下、リストを作成する。まず、最初は、東洋カープの松田オーナーを訪問することになる。

2016年10月6日、忘れられない日となる。アジア初、日本初の障がいのある人たちの大会であることを理解していただき、絶大なる協賛を頂きました。びっくり仰天です。嬉しかったことこの上ありませんでしたし、このことが契機となり、訪問に弾みがつきました。

中国電力、マツダ、広島銀行、広島信用金庫、中国木材、中電工、もみじ銀行、中国綜合信用、

村上農園、広島ガス、広島観光開発、石崎本店、バルコム、中国新聞社、中国放送、広島テレビ、テレビ新広島、広島ホームテレビ、シモハナ物流、田中電機、広島市信用組合、リベラ、アンフィニ広島、広島ガスプロパン、広島マツダ、賀茂鶴酒造、明和運送、ダイキョウニシカワなど。ご協賛くださった企業はまだまだ多くの企業ありますが、記載することができず申し訳ありません。皆様に厚く感謝申し上げます。

この協賛集めに協力してくださった方は、永野正雄さん（現広島市社会福祉協議会会长）と山下弁護士さんです。お忙しい中、同行してくださいました。同時に、広島商工会議所から協賛願い文を頂き大いに助かりました。2017、18年も寄付協賛、プログラム広告願いに精をだしました。寄付金でなく、ハンザ艇を寄付してくださる企業がありました。広島南ロータリークラブ、フマキラー、トータテホールディングス、みづま工房、島屋、グランドハウス、広島大学体育会、ヤマネホールディングス、広島大学医学部ヨット部OB会、広島大学（体育会ヨット部へ）の皆さんです。結局、企業を訪問した数は100数社を超えました。山根会長自身、協賛していただく企業訪問は荆の道であったろうと思います。「辛いの～、気が重いの～」、訪問する企業のことを考えると、気持ちが鈍ってくるのであります。しかし、大会にはかなりのお金がかかることは事実です。会長は自分自身に聞かせました。「この協賛企業訪問は、私利私欲ではない、世界からやってくる障がい者の人達が広島に来て、本当に良かったと言っていただけの素晴らしい大会にするために、お願ひしているのだ」と決意を新たにし、訪問を続けました。

しかし、こうして広島の多くの企業・個人の皆さんに協賛してくださったお蔭で、ハンザヨットとはどんなものなのかを知って頂くことができ、ハンザクラスワールドの開会式に多数出席していただきました。今までヨット大会で、岸田自由民主党政調会長、知事、県議長、市長、市議会議長、広島経済界の重鎮の方々が参加されることはありませんでした。この大会は、多くの皆さんにハンザヨットの存在を知って頂くことができたことです。

初回はこのくらいの大会で良いと思っていたことが、だんだんと大きくなり、どんどん大きく化けていき、私たちの気持ちも勿論化けていきました。

### 日本財団寄贈 ハンザ70艇について

2017年1月21日(公財)日本セーリング連盟新年会が岸記念体育会館で行われました。その席で、井川専務理事と2018ハンザクラスワールド広島開催のアピールをしました。

ハンザ艇を寄付していただき、大会後は全国に配布する旨の話をしました。河野会長、貝道会長は日本財団にお願いに行こうと話が決まりました。2017年4月3日、河野会長、山根会長、日本財団へ訪問、海野常務理事と会談することに。日本財団は障がい者セーリングの普及活動に理解くださいました。10月に、艇は2.3クラス20艇、303クラス50艇、船台70台を申請し、日本財団担当の方と、イベント盛り上げ企画、体験試乗会など普及活動について話し合いました。

2018年2月末に通知あり、3月15日湯崎広島県知事に日本財団を訪問して頂きました。

4月、5月 日本財団より購入金額の80%いただき、セイラビリティジャパン西井氏に発注。入荷は3回のコンテナとなりました。第1回は、6月13日303クラス20艇、2回目は7月13日303クラス15艇、2.3クラス10艇、3回目の最後は9月20日303クラス15艇、2.3クラス10艇の入荷がありました。

7月29日、日本財団寄贈艇の贈呈式盛り上げ企画（大前光市、濱田祐太郎）、試乗会など準備は整いましたが、台風のため中止となりました。延期ということで、10月6日を贈呈式として準備しましたが、台風25号のため2回目も中止となりました。結局、贈呈式はできないままになってしまいました。

## 参加国 20ヶ国以上、選手 180名以上が目標

前回のオランダ大会では参加国 16ヶ国、選手 131名であったが、参加国 20ヶ国以上が最大の目標になりました。2017年4月11日、オーストラリア（ジーロング）アジアパシフィック大会にハンザワールドの招請と大会運営視察のため、高橋、沖田、西野、リード、西井氏が参加し、広島大会に来ていただくようお願いしました。

参加国を 20ヶ国以上にするために、クリスさんと奥さんのジャッキーさんに大変お世話になりました。大会ぎりぎりまで参加を呼びかけていただき、24ヶ国になったのです。

ジャッキーさんには、ハンザワールドに関し、コンテナ、選手との連絡などいろいろな面で大変お世話になりました。一番の影の功労者です。この方がいるからハンザは続いているのだと思います。

## コンテナ輸送が無料となる

大会のため、各国はヨットを持ってこなければいけません、40フィートのコンテナ輸送です。しかし、コンテナ輸送には莫大な費用がかかります。参加国数を増やすためにも、コンテナ輸送費用を安くすることは出来ないかと、マツダロジスティックスさんを訪問しました。おそらく世界各10ヶ所から来るとして話を進めましたが、オランダ、イギリス、フランス、オーストラリア、ニュージランド、香港と最終的には6ヶ国となりました。

マツダロジスティックスの森畠さんたち4名の皆さん、毎週木曜日にミーティングを欠かさず行ってくださったお蔭で、大会前にコンテナが到着し大会に間に合いました。

## インクルーシブとは

大会3日前のことです。表彰の事で、事務所で話していました。ハンザクラスの艇種にリバティーがあります。一人乗りですが、スポーティタイプです。このリバティー艇のみは、重度の障がいを持つ人には、サポートといって帆走補助器具を装備しています。

健常者、自力で帆走できる人は23チーム、サポートの人は11チームの参加でした。そこで、私たちは、表彰するのに23チームとサポートの部門に分けてすることにしていました。

それを知った国際ハンザクラスのテリーさんやクリスさんは、それは間違っている。リバティーは1つで行うべきであると主張します。私たちは、ハンディーがあるのだからサポートの人達はサポートで表彰するのが公平だと主張する。彼らは、「なぜサポートの人達を区別するのか、それはインクルーシブではない。健常者も障がいのある人も同じレースにでることがインクルーシブである。サポートの人達が一つのレースとして表彰することに決して苦情は言わない。サポートの人達が堂々と入賞することだってある。」私は、言葉ではインクルーシブ社会の実現に貢献したいということを言っているが、全然わかつてはいなかったのです。

そのために、ハンザヨットは障がいのある人も、健常者も、性別、年齢を問わず、操縦できるヨットだということがわかりました。インクルーシブの神髄に触れることができました。

## クリス・ミッケルさんの「セーリング・フォー・エブリワンの想い」

大会中日、ミッドウイークパーティーでのクリスさんのスピーチです。

ハンザの基本にあるものは、「誰もが楽しめるセーリング」つまりセーリング・フォー・エブリワン財団 (S4E) の精神です。この財団は、レクレーションとしてのセーリング、そして競技としてのセーリングを広めるために存在します。分裂が進む今の世界において、多様性を認める全員参加の世界、インクルーシブな世界を推進したいのです。なぜなら、異なる能力を持つ人々への最高の贈り物は、平等に参加する機会であると、確信しているからです。

誰もが、何事にも参加できる平等な権利を持っています。インクルーシブであるには、平等に戦う場所と道具が必要です。誰もが、その能力に応じて、自分自身をコントロールし勝負する権利を持つ

ています。自分が楽しいと思うことを追求する時、皆、自主性を持ちます。そして、努力し成功する中で、さらにスキルを向上させ、人生の他の局面でも自信が持てるよう成長するでしょう。このようなことが、どこにつながるのか、断定はできませんが、セーラーたちに、この機会を与えたいのです。

セーリング・フォー・エブリワンの考え方は、通常のセーリングにも役に立ちます。数あるスポーツの中で、セーリングは、おそらく真のインクルーシプを実現できる最良のものであり、インクルーシプの新たなイメージを与えるものであると考えます。いずれ、パラリンピックの競技種目に復活することでしょう。断言はできませんが。しかし、私たちは、最良最善の例を示すよう、努力しようではありませんか！」

クリス・ミッケルさんは、まさに、神から自分に与えられた最良な人生の道として、インクルーシプな世界するにはハンザが最良な道具だと、真摯に歩んでいます。

このハンザクラスワールド大会が一つの区切りとし、今後のセイラビリティ広島あびの会の活動主体はセーリング・フォー・エブリワンの考えを取り組み、日本各地のセイラビリティと一緒にになって、ハンザヨットの世界を広げインクルーシプ社会の実現に貢献していきます。この大会は、『セーリング・フォー・エブリワン』の贈り物をくれたと思う今日この頃です。



## 2018年を振り返って

広島セーリングスクール

前田 海陽

2018年はレーザーで始まり、レーザーで終わった幸せな、そして悩み多き一年でした。

4.7級で参加した1月のオーストラリア選手権では強風を経験し、2月の江の島ミッドウィンターではアジアセーリングチャンピオンシップ、そしてアジア大会の日本代表に選出されました。セーリングが難しくなってきて、悩んだのもこの頃です。毎週のように変わる体型にセーリング技術が追いつきませんでした。「身長が伸びると重心が高くなるから乗り方も変えないといけない」とわかつていても不器用な私はうまく合わせられません。OP級でも同じ経験をしましたが、身長と体重の変化に対応するのは本当に難しいです。その後、江の島での練習会や合宿にも参加して、少しずつセーリングが安定していき、5月の唐津JOCでは世界選手権の出場枠を獲得しました。

6月インドネシア・ジャカルタで開催されたアジアセーリングチャンピオンシップ4位、7月ポーランド世界選手権78位/275艇、8月にはジャカルタ開催アジア大会5位と大きなレースが続きました。悩んでばかりでしたが、今、考えるとヨット漬けのしあわせな時間でした。

アジア大会終了後、4.7クラスを卒業、国体を目指して本格的にラジアルクラスに乗り換えましたが、福井国体まで一ヶ月しかなく気持ちばかりが焦っていました。その反面、大きなレースが続いていることもあり、手にティラーの感覚が残るほどレーザーに乗っていたので、うまく合わせられる気もしました。

国体期間中は、いつものようにしっかり食事と睡眠を取り、陸上ではリラックスして心身を休めるよう心がけました。海上では波、潮の流れ、地形や風のパターンを調査し、コース展開を考える。リコールや大きなミスをしないように細心の注意を払い、得意なスタートは一番で出る。その後はうまく風の振れに合わせてタックする。「平常心で臨む」とよくいますが、当たり前のことを当たり前のようにすることで平常心を保つことが、実は一番重要なと思います。

その思いでレースに挑んだ結果、3位入賞という結果を得ることができました。上位に入賞したのはユースナショナルチームのレベルの高い選手ばかりだったので、本当にうれしかったです。またいつもお世話になっている広島県チームに少しですが貢献できてホッとした。

この一年間、お世話になった広島県セーリング連盟、広島セーリングスクールの皆さん、各地でいろいろな指導をしてくださったコーチの方々、一緒に練習してくれたすべての選手、たくさんの人々に感謝の気持ちでいっぱいです。

本当にありがとうございました。



# 福井国体で入賞して

小菅 楓  
橋本 歩波

私たちは、9月30日から10月3日まで福井県高浜町、若狭和田マリーナで行われた、第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体に、少年女子420級という二人乗りの種目で広島県代表として出場させていただきました。

私たちが出場した少年女子420級には、31都道府県の選手が出場し、その中で4位入賞という成績を収めることができました。国体は各都道府県で選ばれた1種目1ペアしか出場することができません。とてもレベルの高いこの大会で成績を残すことができたことはとても嬉しかったですが、3位と同点だったので、あと1つ早くフィニッシュしていたら表彰台で違う景色が見られたという悔しさもあります。

この大会は台風24号の影響でトライアルレース、初日のすべてのレースが中止され、最終日の予定されていたレースも風がなくノーレースとなつたため、実質2日間、3レースの短期決戦となりました。トライアルレースや直前練習は無くなってしまいましたが、1週間前に事前練習を行った時に感じたこと、先にレースがあった男子の選手に聞いたことを生かすことができ、安定した順位をとることができたのが結果に繋がりました。

—それぞれのポジションで感じたこと—

【クルー 橋本 歩波】

今回の国体は、2回目の出場ということもあり、あまり緊張しませんでした。海上では、集中力を切らさないように気をつけました。また、台風の影響でうねりが残っていたため、艇のバランスをとることを特に頑張りました。目標としていた入賞することができ嬉しかったです。

【スキッパー 小菅 楓】

福井の海は多くの選手が初めて乗る中、事前練習などで2度乗った経験が自信につながりました。海上では、クルーとコミュニケーションをとることを意識しました。しっかり海面を見て相談しながらコースを引くことができたのが良かったです。この経験を今後の大会に活かしたいです。

最後に監督・コーチ、そして応援してくださった皆様ありがとうございました。



## 少年女子レーザーラジアル級

広島セーリングスクール

松尾 華

2018年9月28日～10月3日、若狭和田マリーナにて第73回国民体育大会が行われました。私は中学3年生から4回目の出場でした。少年少女として出場することができる最後の国体ということもあり入賞はもちろんのこと優勝を目指していました。

若狭和田マリーナには前年のプレ大会や国体前の事前練習で何度か訪れていました。しかし、B海面は陸に近く、風がよく振れるのでとても難しい海面でした。ですから事前練習のときに何人かで集まって左右に分かれて走り海面の特徴をつかむように努力しました。そして日本海ということもあり、広島とは波の波長も違いサーフィングすることがとても難しいので、乗り方やバランスのとり方も工夫をしました。

トライアルレースとレース初日は、台風の影響もあり、日程が大きく変更されてレースがキャンセルされました。2日目の昼からレースが始まり期間が短くなって、日程がタイトになった分、いつもの国体とは少し違った感じでした。さらに台風の影響もあり、練習した時とは異なる風向でのレースが多くたため難しいレースでしたが、陸にいる時にトラッキングで他クラスのレースをチェックしたり、レースから帰ってきたメンバーに海面情報を聞き、少しでも多くの海面の情報を学んで、レースに臨みました。実際、そこで得た情報がレースでとても役に立ちました。

今回、私の目標は、レース数が少ないためカットレースを作らないことと、スタートを第一線で出る事でした。そこを頑張った結果、スタートをしっかり出ることができ、レースが展開しやすくなり、結果的に、1マークを上位で回ることが出来ました。

私は帰着後にレースの暫定成績を見ると、その後のレースが気になって集中出来なくなるので最終日が終わるまで成績表は見ませんでした。最終日にレースが終わり、ハーバーに帰って初めて成績表を見ました。3位と同点の4位だったため、とても悔しかったです。あの時に「ああすれば勝てたかもしれない・・・」と後悔はありました。でも、昨年より順位を上げることが出来たのは良かったと思います。

そして、今年1番嬉しかったのは、天皇杯と皇后杯で入賞出来たことです。今まで4年間国体に出場して初めて初めての出来事だったので、思いも特別です。個人の成績だけではなく、今まで一緒にやってきた「広島チーム」で取れたことが私の中で大きな思い出となりました。

少年女子としての最後の国体で、4年連続「広島県」として出場でき、とてもいい経験ができました。いつものスクールとしての遠征ではなく、成年の方と一緒に行くことができ、いろいろなことを学ぶことができました。今回のレースでの経験を、これからヨット人生に活かしていきたいです。「広島県」として国体に参加することができよかったです。お世話になった方々に感謝いたします。ありがとうございました。  
以上



# 福井国体レースレポート

広島県セーリング連盟 福井国体 成年女子 SS級

マツダ株式会社 高橋友里

株式会社 広島銀行 田村愛子

2018年の福井国体で、本ペアで国体へ出場する10年目の節目を迎えました。広島県をはじめ、セーリング連盟の皆さんとのサポートのおかげで継続して出場させて頂く事ができ、ペアとしても貴重な体験をさせて頂いております。この場を借りて御礼申し上げます。

昨年の福井国体を2つの視点から振り返ろうと思います。

## 1. 日本海でのレース

瀬戸内セーラーにとっても鬼門?とも言える日本海でのレースで、さらに昨年度のインカレでの荒れた天候のレース情報も入っており、慣れない海面への対応や不安を解消する事が今国体の1つの課題でした。

■高浜湾特有の風向の周期的な変化

■満ち引きのない海面

■うねりによる慣れない波の周期など

前年度の愛媛国体同様、大会期間の前週にレース艇を現地に持ち込み、練習を積むことができました。少しでも海面の特徴を捉えること、社会人生活⇒国体生活への気持ちの整理もこの前週の練習でできたかと思います。また、現地の方から海面に関する情報を得ることもでき、不安の解消に繋がりました。本大会期間中は台風の影響もあってか、練習した風向とは異なる風向でのレースが多くたですが、少しでも海面の情報を得ているという面で心理的にもアドバンテージは大きかったですと感じています。

## 2. 台風による大幅な会期の変更

これまでの国体でも何度か台風の直撃に遭い会期の変更がなされたことはありましたが、福井国体のように会期前の早い段階から大幅な日程の変更が行われた大会は初めてでした。危険を最大限回避する運営側の気概を感じました。計測日も変更になりましたが、チーム全体でフォローし合いながら、台風後にスムーズに競技に集中できる体制を整えることができたのも今後のチーム活動に生かせるのではないかと思います。

このような不規則な日程では与えられた期間をいかに平常心で過ごすかが肝かと思います。広島県チームは休養を取る人・トラッキングを用いたイメージトレーニングをする人・室内スポーツで汗を流す人など様々でしたが、成年・少年と普段交流の少ないメンバー同士の交流を深めるきっかけにもなりましたし、チームとして行動でき良かったのではと感じています。今年は天皇杯・皇后杯を得ることができました。入賞したメンバーはもちろんのこと、大会期間以外含め全員で「チーム」として戦えた結果だと感じています。

私たちのレースの内容としては、初日を好発進できたものの、キープすることが難しく、結果としては8位入賞と昨年より1つ順位を落とす結果となりました。レース展開における様々な反省はあります、今後も弱みを強化していくながら活動をしていきたいと思います。

社会人セーラーとして国体に参加できる幸運を感じつつ、現在のジュニア・学生世代がセーリングを続け、たくさんの楽しさや様々な経験を得られるように、今私たちにできることは何かを考えながら活動を続けていきたいと思います。今後ともよろしくお願いします。ご一読頂きありがとうございました。



表彰式



出艇時の応援風景

# 「OP級アジア&オセアニア選手権に出場して」

広島セーリングスクール

前田月里

11月10日～17日ミャンマーのングウェ・サウンで行われたOP級アジア&オセアニア選手権に出場しました。2017年にブルガリアで行われたOP級ヨーロッパ選手権に続いて2回目の海外遠征でした。去年は4人のチームでしたが、今回は江の島、浜名湖、海陽海洋、兵庫、広島、北九州、別府から集まった10人のチームでとても賑やかでした。

成田空港からヤンゴン空港へ9時間、ヤンゴン空港からングウェ・サウンまではバスで10時間もかかりました。道路は舗装されていなくてガタガタで、バスは壊れるかと思うぐらい揺れました。乗っているだけでヘトヘトになるほどでした。空港のあるヤンゴンは大都会でしたが、レースがあるングウェ・サウンはかなりの田舎でした。でも、ヨットハーバーとホテルは南国の高級リゾート地という感じでとてもきれいでした。食べ物はパンやフルーツがとてもおいしく、天ぷらやケーキが出ることもありました。特にワッフルとオムレツがおいしく、毎回食事が楽しみでした。

日本で調べた現地情報ではミャンマーの11月は「雨が降らず暑い」となっていましたが、レース前半はずっと雨で、肌寒い日が続きました。そのため陸からの軽風を中心のレースになりました。アジア&オセアニア選手権は、タイ・シンガポール・中国など世界選手権でも上位に入賞している国が多く参加しているので、とてもレベルが高かったです。上位選手はスタートがとても上手で、コース選択でもミスがありません。私は、上手な選手に挟まれてうまくスタートができず、かなり苦しい展開でした。でも、ベストスタートができたときは上位を走ることができ、タイやシンガポールの選手たちにも走り負ける気がしませんでした。スタートはもっと練習をしなければいけないことがわかったけれど、反対にポートスピードは海外でも通用すると思いました。

また長いレースのときは特に体調管理をしっかりしないといけないと感じました。私にとっては、疲れないように早く寝ることが一番重要で、その他にしっかり何でも食べること、それでレースの成績が大きく変わることもわかりました。この経験は、江の島で行われた全日本選手権で活かすことができ、準優勝につながりました。

今回、アジア選手権で思ったような成績は出せませんでしたが、このレースに参加していなかったら全日本選手権で2位になれることはなかったと思います。どんなレースも毎日の練習も全部次のレースにつながっていることがよくわかりました。OPにはあと一年間しか乗ることができないので、一日の練習も無駄にせず、集中していこうと思います。



# 全日本自治体職員ヨット競技大会優勝の報告

福山市役所ヨット部

藤井 裕文

この度、私たち福山市役所ヨット部は、2018年8月18日から19日にかけて愛知県蒲郡市豊田自動織機海陽ヨットハーバーにおいて開催された「第45回全日本自治体職員ヨット競技大会」に出席し、日頃の練習の成果が実を結び、大会4連覇を達成することができた。

本大会は、日本セーリング連盟に加盟する全日本自治体職員ヨット連盟が主催となり毎年開催されているもので、スナイプ級2艇を1チームとして、2艇の合計得点でチームの順位を競う団体戦である。私たちが掲げる年間目標の中で、最も重要な大会に位置付けているものであり、今回は、東京都庁ヨット部や横浜市役所ヨット部をはじめ、全国から9チームが参加し、2日間で5レースが実施された。JSAF公認の全日本タイトルということもあり、運営やジャッジも充実した中でレースが行われた。

大会への参加には多くの方々の支えがあったことは勿論のこと、優勝の報告にあたっては多方面からお祝いのお言葉をいただいた。今回は、皆様への感謝の思いも込めながらこのレポートを記したいと思う。

まず最初に、福山市役所ヨット部について紹介をさせていただきたい。私たちの部には現在9名が在籍しており、主に、福山市鞆町の小室浜海水浴場の艇庫を拠点に福山セーリング連盟の仲間と一緒に活動をしている。部の主な活動としては、福山で開催されるディンギーやクルーザーレースをはじめ、県内で開催されるSAIL HIROSHIMAや夏期オープン、全日本チームレース選手権大会のほか、県外ではその他の水域大会や全日本大会、国体などにも多く参加しており、レース以外にも普段から各自で練習やトレーニングに励んでいる。加えて、福山セーリング連盟や市などと協力して、小学生を対象としたヨット教室や更に対象者を拡大したヨット試乗会なども毎年開催しており、セーリングスポーツの普及活動にも力を入れているところである。

さて、今回の全日本自治体職員ヨット競技大会には、兼田、新延、大野、岡本、竹田、瀬田そして私（藤井）の7人のメンバーで臨んだ。

レース初日は、3～6mの風の中、3レースが実施された。団体戦であるため、レース委員会に申告すればチーム内でのメンバー交代は自由である。このため、体力や風速などを考えながらレースごとにベストな体制で臨めるよう2艇のメンバーを決定していく。レースの戦略としては、1つのレースで2艇が同時に大きく得点を崩すことのないよう、レース中は常にチームメイトの艇の位置を確認しながら、チームとしてのリスクを減らすコース取りや相手チームのカバーリングなど、団体戦を意識した展開を心掛けた。広島でチームレースを実践していたことも奏功し、チーム内でこの感覚が共有できていた。信頼できるチームメイトと一緒にレースを作っていくことは、大変心強く、気を奮い立たせると同時に、安心感を持って落ち着いてレースに臨むことができる。レースの合間などにも互いに声を掛け合うことで、リラックスや気持ちの切替え、集中力を高めたりするなど、メンバーがレースで力を発揮しやすい雰囲気を作ることができるもの団体戦の特徴と言えるだろう。また、この10年間は毎年続けて蒲郡市で当大会が開催されており、チーム内でレースエリアの風向ごとの風の特徴も掴めていたことと、当日は普段から瀬戸内で乗り慣れている風域と波であったことも幸いし、2艇が安定して得点をまとめ、初日には福山市役所が首位に立つことができた。ことに、第1レースから第3レースまでの全てのレースにおいて、福山市役所の艇がトップを取ったことも上出来だった。

レース二日目は、2～3mの非常に不安定な風の中、2レースが実施された。初日とは違って追われる立場となり、緊張感の増すレースとなつたが、とりわけ、スタートから守りに入り消極的な展開とならないよう、平常心でのレースを心掛けた。スタート前など、体が硬くなってしまう場面では、

努めてその状況を楽しむことに意識を向けると、自然と緊張もほぐれていくものである。そのような状況の中、第4レースでは、福山市役所が勝負所で集中力を發揮し、今大会で最高の出来となる渾身のワン・ツーフィニッシュを決め、優勝を手中に収めた。

続く第5レースを終えた最終成績は、優勝：福山市役所（17点）、準優勝：高松市役所（34点）、3位：愛知県庁（40点）（※合計得点は、5レース実施の内、1レース得点カット有り。）となり、優勝カップを掴み取り、チームで喜びを分かち合うことができた。特に、チーム一体となって目標を成し遂げ、勝利の余韻に浸るという感覚は特別なものもあるし、次に向けて私たちのモチベーションを高めてくれるものになる。

このように、大会で勝つことができたことは無論喜ばしいことではあるが、セーリングを続け、常に向上心を持ってレースに参加しようとする仲間が全国にできたことも忘れてはならない。若い選手を多く集め、自らレスキューポートを購入し、毎週のように練習を重ね、負ければ悔し涙を流し、真剣にセーリングを楽しみ、真剣にセーリングに向き合っているチームとレースができたことは、非常に大きな刺激となっているし、そのようなチームは私たちと一緒に成長をさせてくれる大切な存在である。そして、シビアなレースが終われば共にセーリングを愛する大切な仲間である。その他の大会などで各地の会場に行くときも、その先では一緒に戦った馴染みの顔が出迎えてくれる。

また、ここ数年、レース中に相手を威嚇するような罵声が賑やかに飛び交うこともめっきり減った。これもスポーツマンシップの考え方方が徐々に浸透し発展してきているからだろうか。いずれにしても、こうした変化に気付くことができたことも嬉しい。

なお、大会期間中、夜はお楽しみのレセプションが用意されているのであるが、我々のユニホームは、当然、ハンザワールドで作った真っ赤なカープTシャツであったことは言うまでもない。

大会への参加にあたっては、レース結果はもとより、それ以外から得るものも非常に多くあるものである。また、セーリングを続けることができる環境にも恵まれていたし、このような経験をさせていただくことができたことについて、いつも支えてくださっている皆様や一緒に活動をしている仲間には感謝し尽くせぬ思いである。いつかこの恩を何らかの形で返していきたい。

最後に、おこがましくもこの場を借りて学生の皆さんに伝えたいことは、関わり方は様々ではあるが、社会人になっても是非セーリングを続けてほしいということである。そして、素晴らしい奥深いセーリングスポーツの魅力を再発見していただき、引き続き、共にセーリングを盛り上げていってくれれば幸いである。



## 特 集 3 2020 東京オリンピック関係

### 2020年東京オリンピックへ向けての準備状況

広島県セーリング連盟 競技委員会  
日本セーリング連盟 レース委員会  
松 尾 英 樹

2013年9月8日、アルゼンチンのブエノスアイレスで行われた国際オリンピック委員会（IOC）総会で東京オリンピックが決定して、早いもので5年が経過しました。まだまだ先だと思っていたオリンピック本番も2年を切りました。

ここで東京オリンピックの概要を記します。

開 催 日：2020年7月下旬

開 催 期 間：16日間（初日のレースから最終日まで）

艇 种：49er（男子）、49FX（女子）

Laser（男子）、LaserRadial（女子）

470（男子） 470（女子）

RS-X（男子）、RS-X（女子）

Finn（男子）、

NACRA17（男女混合） 合計10種目

参 加 艇 数：各クラス20～45艇（各種目により艇数の違いあり）

レース海面：江の島、葉山沖に5海面

運営スタッフ：海上5海面×40名＝200名 陸上150名 合計350名／日

上記にもありますように、5海面でレースが行われるために非常に多くの運営スタッフが必要とされています。期間も長いためにスタッフの休みの確保も大変です。

またレースの行われる江の島沖の海面の水深は40～100Mととても深い水深となっており、10Mしかない広島観音沖とは大きく状況が違います。

この深い海面での正確なマーク設定は困難を極めています。その上、ワールドセーリングからは少しの風の変化でも公平なレースを行うために頻繁なマークの再設定を要求されます。これは慣れないメンバーが適当にマークを設定できるほど容易なことではなく、熟練したスキルと経験が要求されます。

その為に現在、JSAF主催のマーク設定のクリニックが度々開催されており、全国から多くのスタッフが集まりトレーニングを積んでいます。広島から多くのメンバーが参加してトレーニングをしています。このトレーニングはマーク設定だけでなく、操船技術や様々な状況判断も必要とされ、自身のスキルアップにもつながるものです。オリンピックのみならず広島県でのレース運営にも生かされることと思います。

施設関係の準備も佳境であり、大会本部となる江の島は施設改修が急ピッチで進んでいます。周囲の道路整備も行われています。

2019年7月から始まる470世界選手権、8月からテストイベント（プレオリンピック）、セーリングワールドカップとビックイベントが続きます。各国ともそれらの大会が国ごとの選考レースとなっていることから、多くの選手が出場しますし、ハイレベルな大会が予想されます。夏の江ノ島は南西の良い風が吹くことが多くエキサイティングなレースが行われることでしょう。広島県から多くのスタッフがこの夏の大会から参加する予定です。大学生のボランティア参加も募集しています。

我々にとってオリンピックは格別なものです。56年ぶりですから、次の大会が見られるかどうか…セーリングもオリンピックから外れるかもしれない…そうなると何としても東京オリンピックを成功させて、日の丸が一番高い場所へ上がるところを、この目で見てみたい。そう切に思いました。その日が来ることを夢見て、まずは大会の成功へ向け尽力していきたいと思います。

広島の皆様もスタッフとして参加し、一致団結し江ノ島で「広島魂」を見せてやろうではありますか。皆様のご協力をよろしくお願ひします。



## ニュース。ニュース。ニュース

### 「県連創立 70 周年記念式典・11月23日」

1949年（昭和24年）に広島県ヨット連盟設立結成式が行われました。当時は瀬戸内海汽船の仁田竹一氏が会長で、前年の福岡国体で使用したスナイプなどの払い下げ艇があったようです。当時の創立関係者は皆亡くなっていますが、あれから70年という月日が流れました。多くの人たちが幾多のイベントに関わりながら、次の世代に引き継ぎ、今の（公財）広島県セーリング連盟があります。

記念式典当日は、講演会、式典、祝賀パーティを多くの県連関係者で祝いましょう。

- ・2019年11月23日（土曜日）12:00～講演会、14:00～記念式典・祝賀会（予定）
- ・リーガロイヤルホテル広島
- ・会費制
- ・県連関係者には別途案内

### 「学連、高体連ヨット部 OB 親善交流レース」

昨年のハンザクラスワールド大会の運営は広島の学連、高体連のOBが多数運営支援をしてくれました。ハンザクラスヨットという、これまでの経験に無いヨットのレースでしたが、さすがにヨット部OBさんは要領を得ており、スムーズな運営の原動力となっていました。

このハンザクラスヨットが年配者も乗れる生涯スポーツとしてのセーリングを可能にしてくれるヨットであり、県連が進めるインクルーシブ社会の理解にもなるということで、ハンザクラスヨット303（2枚帆スループ）を使った団体戦で準備を進めています。海から離れているOBに、もう一度海に戻って戴ければ楽しい交流レースになりますので、OBへの声掛けを御願いします。

レース参戦を希望する人、呑み会交流を期待する人、宜しくお願ひします。

- ・2019年6月9日（日曜日）9:00集合、開会式 10:00第1レース～（予定案）
- ・広島観音マリーナデインギヤード沖（防波堤から応援できます）
- ・レース終了後 BBQ懇親会
- ・使用艇 ハンザ303（2人乗り）
- ・得点 同一チーム3艇の合計得点で順位を決定する（団体戦）
- ・参加料 2,000円／一人、懇親会費含む（予定案）
- ・問合せ 高垣（090-1334-3312）、柳本（090-8244-1477）、宮西（090-9062-0670）

# 得点記録の表記について

競技委員会  
委員長 大原博實

レース記録に関しては、ルールブックでは付則Aに関係する条文が記載されており、A3～A6でレース委員会はレース艇について、着順⇒順位⇒得点の順に成績表として整理するよう求められています。

そして国体等では、より選手目線でレース記録を作成することを目指しており、成績表を見れば何が起こったのか分かるように丁寧に作成されています。

仮に参加艇を40艇に設定した場合の成績表で、何れも付則A5に基づきレース委員会が審問を経ることなく決定できるものについては、下の表Iのようになります。

- ① 早すぎるスタートをした艇(OCS) やスタートのペナルティーが適用された艇(UFDやBFD)についても着順は記録され、順位の欄で抵触した規則違反の項目が略語(A11)で明らかとなります。
- ② レースを途中で棄権した艇は「リタイアした」と言いますが、その状況(何処で何時、何故)に応じて順位欄の略語はDNS、DNF、RETと3つに分かれます。また、その異なる意味については内容説明をご覧下さい。
- ③ DNFと表記される艇は、リタイアした結果フィニッシュラインに至らなかった艇と、フィニッシュウインド(最初の艇からのタイムリミット)内にフィニッシュラインに至らなかった艇と2種類があります。

I レース委員会が決定する得点			
着順	順位	得点	内 容 説 明
6	OCS	41	RRS29 または RRS30.1 に違反しフィニッシュ
7	UFD	41	RRS30.3 に違反しフィニッシュ
8	BFD	41	RRS30.4 に違反しフィニッシュ
38	DNS	41	スタート4分以後にスタートしフィニッシュ
RET	DNS	41	スタート前にリタイア(RRS28違反)申出
RET	DNF	41	スタート後にリタイア(RRS28違反)申出
RET	RET	41	レース途中でリタイア(付則P違反)
11	RET	41	フィニッシュ後に自ら規則違反を認めリタイアを申し出
12	SCP	24	RRS44.3により12点の得点ペナルティー(41×0.3)
15	13(STP)	16	順位は繰上げ13位で標準ペナルティーは3点 (順位を省略して表記することもあり)
15	STP	16	
DNF	UFD	41	RRS30.3に違反しフィニッシュウインド内にフィニッシュせず
DNF	DNF	41	フィニッシュウインド内にフィニッシュせず
DNF	DNS	41	スタート4分以後にスタートしフィニッシュウインド内にフィニッシュせず

- ① この表の中で注意していただきたいのは、抗議審問なしでレース委員会は標準的ペナルティー(STP)を記録することが出来ますが、その場合には事前に帆走指示書(SI)でその旨を記載し、適用する規則違反に応じたペナルティーの内容(得点等)を公式掲示する必要があるので注意してください。
- ⑤ またRRS43.3に規定された得点ペナルティー方式(20%)を採用する場合にも、その旨を帆走指示書(SI)に規定する必要があるので注意してください。

次にプロテスト委員会の審問を経て、プロテスト委員会により決定される順位と得点については、次の表Ⅱのようになります。

- ① 艇の規則違反に対して抗議できるのは、レース艇、レース委員会、プロテスト委員会、テクニカル委員会で、抗議は基本原則の“スポーツマンシップと規則”に記されているように「守り守らせる一連の規則により統制されている。」というルールの精神に基づくものです。
- ② プロテスト委員会の裁量によるペナルティー(DPI)については、ルール(序文)に規定されているので帆走指示書に記載する必要はありませんが、規則の項目と適用されるペナルティーの内容については、事前に公式掲示することが求められています。
- ③ 付則T(調停)を採用する場合、RRS43.3の得点ペナルティーを採用する場合、帆走指示書に適用する旨を記載する必要があります。

II 調停・審問を経てプロテスト委員会が決定する得点			
着順	順位	得点	内 容 説 明
30	28(ARB)	40	順位は線上げ 28 位で付則Tに基づく 12 点の得点ペナルティー (順位を省略して表記することもあり) RRS30.3に違反しフィニッシュ
30	ARB	40	
20	18(DPI)	22	順位は線上げ 18 位で審問後に裁量により 4 点の得点ペナルティー (順位を省略して表記することもあり)
20	DPI	22	
3	RET	41	審問前に自ら規則違反を認めリタイアした
10	RDG	7	得点は救済が認められ 7 点
11	DSQ	41	レース後に審問を経て失格
15	DNE	41	付則 P(レースの継続)またはRRS30.4(再帆走)による失格 (得点からの除外不可)
24	DNE	41	RRS2、RRS69違反による失格(得点からの除外不可)

余談ですが、昨年の江の島WSCでスタート本部船にマークタッチした艇が、審問に先立ちリタイアを申し出たかどうか分かりませんが、審問の結果捨てレースに出来ない得点(DNE)とされています。

以上のように、成績表の標記は様々な艇の状況を表現していますが、レースに参加される選手の皆さんには、出きる限りアルファベットが順位欄に記載されないようなレースを心掛けて下さい。

# 強化委員会

強化委員長 小菅 正幸

インターハイの種目が「420級とFJ級」から「420級とレーザーラジアル級」に変更され、広島県勢では久しぶりの入賞、福井国体では平成21年の新潟国体以来となる皇后杯の入賞、平成22年の千葉国体以来8年ぶりの天皇杯8位の成績を取ることが出来ました。

3位と同点の4位が2種目、8位と1点差で入賞を逃した種目もあり、1点の重さを痛感した大会でもありました。8位に3県が同点で並び1点でも少なければ入賞を逃すところでした。

海面情報を共有しチーム全員で勝ち取った天皇杯入賞です。

少年種目では国体とインターハイの艇種が統一され、インターハイでは高校ヨット部ではなく、個人で活動する選手にも出場の機会が与えられるようになった変化の年でした。

新潟・千葉国体での好成績も成年女子の就職時のUターンとユースの活躍がきっかけだったように思います。

今回も新しい制度（スポーツ実績のある者を対象とした特別選考）で和歌山からUターンし、広島国泰寺高等学校の教諭、ヨット部顧問となった坂本氏が強化のスタッフとして加わり、高校ヨット部とユースの個人活動を活性化させことが良い成績につながったように思います。

近年、ジュニアでは広島セーリングスクールから毎年ナショナルチームに入る選手がおり、ユースに上がる時に、いかに広島県に残し育てるかが課題になっておりますが、しっかり連携を取って広島県の競技力向上に繋げて行きたいと思いますので、皆様のご支援をよろしくお願ひ致します。

第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体

福井県高浜町 若狭和田マリーナ 2018/9/30～10/3

天皇杯	8位
皇后杯	5位
成年女子セーリングスピリット級	8位 高橋 友里 / 田村 愛子
少年男子レーザーラジアル級	3位 前田 海陽
少年女子420級	4位 小菅 楓 / 橋本 歩波
少年女子レーザーラジアル級	4位 松尾 華

いきいき茨城ゆめ国体リハーサル大会（2018年全日本セーリング選手権大会）

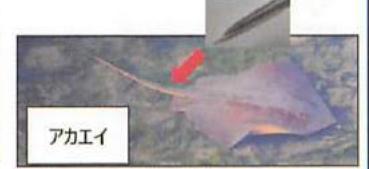
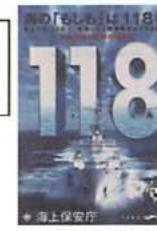
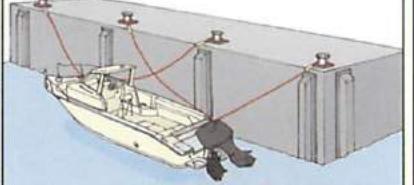
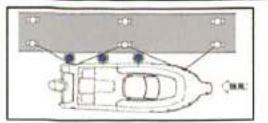
茨城県阿見町 霞ヶ浦セーリング特設会場

成年男子レーザー級	1位 豊島 以知朗
成年女子レーザーラジアル級	1位 濱田 華帆
少年男子レーザーラジアル級	1位 豊島 有壮
3位 前田 海陽	
少年女子420級	1位 小菅 楓 / 橋本 歩波

平成30年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会（第59回全国高等学校ヨット選手権大会）

和歌山県和歌山市 和歌山セーリングセンター 2018/8/12～16

女子レーザーラジアル級	5位 松尾 華（広島修道大学附属鈴峯女子高等学校）
	6位 小菅 楓（広島県立広島国泰寺高等学校）

項目	対応内容	リンク
選手として		
知識	<p>1 船の構造や艤装の仕組みを理解しておくこと 例えれば、セールを降ろす方法、パワーラインの取り方など必要最低限は必要</p> <p>2 メンバー全員が、心肺蘇生法の講習を受けておくこと 2019年5~6月に実施予定</p> <p>3 練習前にその日の天気予報を確認するとともに観天望気（かんてんぱうき）を怠らないこと 荒天時の携帯アラームが有効</p> <p>4 経験不足の選手が参加する場合や悪天候が見込まれる場合、練習中止の基準を事前にチーム内で確認しておくこと</p>	<p>救命講習↓ <a href="http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1111661337673/index.html">http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1111661337673/index.html</a></p> <p>アド↓ <a href="https://matome.naver.jp/odai/2140575860218223701">https://matome.naver.jp/odai/2140575860218223701</a></p>   
装備	5 荒天が予想される場合やビギナーが乗組する場合には、マストトップに黒球等の浮力体を装備し完沈の防止を図ること 但し黒球を付けると風に流れやすく、センターへも上がりにくいので十分注意のこと	
服装	<p>6 季節や状況に応じたウェアを着用すること 夏場：極力肌を露出させない。紫外線が強く目を傷めるのでサングラスを着用すること 冬場：重ね着厳禁 防水性透湿素材が最高 無い場合、下へ透湿性の高い素材+上に撥水性の高い素材が良い 夏用のラッシュガードは危険 ライフジャケットの上にビブスは有効</p>	<p>お勧めウェア↓ <a href="http://blog.best-wind.jp/?cid=57072">http://blog.best-wind.jp/?cid=57072</a></p>
緊急時	<p>7 海上で異常時の伝達は大きなアクションで伝えること。両手で手を振る。</p> <p>8 夏場は熱中症対策のため飲料水をこまめに飲むこと 熱中症かな…と思ふときは海へ浸かる</p> <p>9 艤装品のトラブルで帆走できない場合、風が強ければとにかくメインセールを降ろす（シングルハンドは…）</p> <p>10 強風で帆走できない場合は、メインセールをおろしジブ帆走も有効 但し風上には走られない</p>	<p>熱中症予防↓ <a href="https://www.netsuzero.jp/learning/le02">https://www.netsuzero.jp/learning/le02</a></p>
沈処理	<p>11 軽風時に必ず沈処理方法を経験し、習得しておくこと</p> <p>12 センターボードへ登れるだけの最低限の体力、腕力は必要</p> <p>13 特に冬期は沈処理が長引くと低体温症の危険があるため、体力のないメンバーは早めに交替する</p> <p>14 沈した場合には、絶対に艇から離れないこと 何かに捕まっておく</p> <p>15 センターボードが下がった等で沈れた艇の中で作業する場合には、沈艇のメンバー同士でボトムをたく等して常に安全確認を行うこと</p> <p>16 一過性的の強風時には船を無理に起こさず、強風をやり過ごすことも考慮</p> <p>17 緊急時にも対応できるようにロープワークを練習しておくこと</p>	<p>沈処理→GO アカエイ↓ <a href="http://outdoor.yminext.com/kikenn-21.html">http://outdoor.yminext.com/kikenn-21.html</a></p>  
その他	18 アカエイが年々多くなっています。特に砂浜は注意。	
レスキュー体制		
準備	<p>1 レスキュー艇には少なくともシーナイフを備えておくこと</p> <p>2 レスキュー艇には携帯電話等の無線機器を持ったメンバーが乗組すこと 番号は… マリーナの番号は…</p> <p>3 曲航ロープφ 6mm×10m以上、雑糸、簡単な工具、備品は常に用意しておく</p>	<p><a href="https://www.kaiyou-shop.com/products/list.php?category_id=95">https://www.kaiyou-shop.com/products/list.php?category_id=95</a></p> <p><a href="http://www.kaiho.mlit.go.jp/doc/tel118.html">http://www.kaiho.mlit.go.jp/doc/tel118.html</a></p>  
体制	<p>3 日頃からレスキュー艇のメンテナンスを怠らないこと</p> <p>4 原則としてレスキュー艇がない状態では出艇しないこと、他のチームにお願いすることも考慮する</p> <p>5 レスキュー艇は常に2名以上乗り、且つ定員の60%までの乗員が望ましい（救助艇は観覧艇ではない）</p> <p>6 レスキュー艇のメンバーは、何時でも飛び込める準備をしておくこと</p>	<p>キルコード <a href="http://www.neonet-marine.com/item/22954.html">http://www.neonet-marine.com/item/22954.html</a></p>  
沈処理	<p>7 沈艇を見発したら、全ての乗員の姿（頭）を確認するまでは目を離さないこと</p> <p>8 風上からの救助はレスキューからの声がメンバーに届きやすい</p> <p>9 波の少ない海面では、風上からアプローチし、少しずつ後進をしながら常にバウを風下にするとレスキューの位置取りが容易</p> <p>10 落水者の救助はアプローチの向きと引き上げる方法に注意する</p> <p>11 強風で起し難い時は、レスキュー艇からフォースティー等にラインを取り、後進し船を風に立てると起しやすい 但し帆への取り方に注意</p> <p>12 複数救助する艇がいる場合、弱者から救助することを優先し、その他は予備のアンカーで一旦係留も考える</p>	
曳航	<p>13 パワーラインや曳航索がプロペラにかかるないように操船すること</p> <p>14 曳航時に大波を受ける時はバウを波に立て減速すること</p> <p>15 船舶の往来が多い海面においては、無風時は早めに曳航に移行し帰港すること</p>	
その他	<p>1 桟橋のマナー 艇の係留方法、舫いの取り方、フェンダーの使用</p> <p>2 ヤードのマナー 艇の固定方法、置き方など</p>	<p><a href="https://www.yamaha-motor.co.jp/marine/life/stepup/mooring/stormy/">https://www.yamaha-motor.co.jp/marine/life/stepup/mooring/stormy/</a></p> 

# 公益財団法人 広島県セーリング連盟 定款

## 第1章 総則

### (名称)

第1条 この法人は、公益財団法人広島県セーリング連盟と称する。

### (事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を広島市に置く。

## 第2章 目的及び事業

### (目的)

第3条 この法人は、子供から高齢者、障がい者や健常者、初心者からトップアスリートまですべての県民のセーリングスポーツ・レクレーション活動の普及と発展に関する事業を行い、自然と人を大切にする心を育成し、健康新生がいのある明るい共生社会の発展に貢献することを目的とする。

### (事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う

- (1) 県民が気軽にセーリングスポーツに親しむことができる機会の提供とその環境を作る
- (2) 地域におけるセーリングスポーツ・レクレーション活動の普及と振興
- (3) 障がい者のセーリングスポーツ・レクレーション活動の普及と振興
- (4) セーリングスポーツに関する講習会、体験教室等の実施、海上安全活動及び思想の普及と振興
- (5) セーリングスポーツ関連施設等の運営に対する援助及び参画
- (6) セーリング競技の国内大会や国際大会の開催、競技大会への選手・指導者の派遣、および選手・指導者の養成・強化
- (7) セーリングスポーツを通じて、国際交流の推進と関係団体との相互連携
- (8) セーリングスポーツと健康に関する調査研究事業
- (9) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 前項の事業は、広島県において行うものとする。

### (その他の事業)

第5条 この法人は、前条第1項各号の掲げる事業の推進に資するため、次の事業を行う。

- (1) 自動販売機による事業
- (2) その他公益目的事業の推進に資する事業

## 第3章 財産及び会計

### (財産の種別)

第6条 この法人の財産は、基本財産及びその他の財産の2種類とする。

2 この法人の目的である事業を行うために不可欠な財産は、この法人の基本財産とする。

3 その他の財産は、基本財産以外の財産とする。

4 基本財産は、理事会において別に定めるところにより、第3条の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。

5 基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を得なければならない。

6 公益認定を受けた日以後に寄附を受けた財産（又は交付を受けた補助金その他の財産）については、その半額以上を第4条の公益目的事業に使用するものとし、その取扱いについては、理事会の決議により別に定める寄附金等取扱規程による。

### (事業年度)

第7条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

### (事業計画及び収支予算)

第8条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類は、毎事業年度開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会が承認する。これを変更する場合も同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間据え置き、一般的閲覧に供するものとする。

### (事業報告及び決算)

第9条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告書
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
- (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
- (6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号、第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般的閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般的閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
- (3) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

### (公益目的取得財産残額の算定)

第10条 会長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第3号の書類に記載するものとする。

## 第4章 会員及び賛助会員

### (会員)

第11条 次の各号のいずれかに該当するものは、団体会員及び一般会員となることができる。

- (1) 団体会員（セーリングスポーツに関する地域、学校、クラブ等の団体をいう。）
- (2) 一般会員（セーリングスポーツ競技に関する競技者、競技員、指導者等の個人をいう。）

2 会員について必要な事項は、理事会の決議を経て、別に定める。

(賛助会員)

第12条 この法人に賛助会員を置くことができる。

2 賛助会員について必要な事項は、理事会の決議を経て、別に定める。

## 第5章 評議員

(評議員の定数)

第13条 この法人に評議員 20 人以上 30 人以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第14条 評議員の選任及び解任は、評議員会において行う。

2 評議員を選任する場合には、次の各号の要件をいずれも満たさなければならない。

(1) 各評議員について、次のアからEに該当する評議員の合計数が評議員の総数の3分の1をこえないものであること。

ア 当該評議員及びその配偶者又は3親等内の親族

イ 当該評議員と婚姻の届出をしていないが事实上婚姻関係と同様の事情にある者

ウ 当該評議員の使用人

エ イ又はウに掲げる者以外の者であって、当該評議員から受ける金銭その他の財産によって生計を維持している者

オ ウ又はエに掲げる者の配偶者

カ イからエまでに掲げる者の3親等内の親族であって、これらの者と生計を一にするもの

(2) 他の同一の団体（公益法人を除く。）の次のアからEに該当する評議員の合計数が評議員の総数の3分の1をこえないものであること。

ア 理事

イ 使用人

ウ 当該他の同一の団体の理事以外の役員（法人ではない団体で代表者又は管理人の定めのあるものにあっては、その代表者又は管理人）又は業務を執行する社員である者

エ 次に掲げる団体においてその職員（国会議員及び地方公共団体の議会の議員を除く。）である者

① 国の機関

② 地方公共団体

③ 独立行政法人

④ 国立大学法人法又は大学共同利用機関法人

⑤ 地方独立行政法人

⑥ 特殊法人又は認可法人

(評議員の任期)

第15条 評議員の任期は、選任後 4 年以内に終了する市議年度のうち、最終のものに関する定期評議員会終結の時までとする。

2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

3 評議員は、第11条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第16条 評議員は、無報酬とする。

2 評議員に対しては、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

3 前2項に規定する事項に関し必要な事項は、評議員会の決議を経て、会長が定める。

## 第6章 評議員会

(構成)

第17条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

第18条 評議員会は、次に事項について決議する。

(1) 理事及び監事の選任又は解任

(2) 貸借対照表及び損益計算書並びに財産目録の承認

(3) 定款の変更

(4) 残余財産の処分

(5) 基本財産の処分又は除外の承認

(6) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第19条 評議員会は、定期評議員会及び臨時評議員会とする。

2 定時評議員会は、毎年度終了後、3ヶ月以内に開催する。

3 臨時評議員会は、必要がある場合に開催する。

(招集)

第20条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。

2 評議員は、会長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(議長)

第21条 評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員の中から選出する。

(決議)

第22条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならぬ。

(1) 監事の解任

(2) 定款の変更

(3) 基本財産の処分又は除外の承認

(4) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を退任する措案を決議するに際しては、各候補者ごとに決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第22条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

#### (議事録)

第23条 評議員会の議事については、法令に定めるところにより、会長が議事録を作成する。

2 議長及び会長は前項の議事録に記名押印するものとする。

## 第7章 役員

#### (役員の設置)

第24条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 10人以上 20人以内

(2) 監事 2人以内

2 理事のうち1人を会長とし、2人以内を副会長とし、1人を専務理事とし、5人以内を常務理事とする。

3 前項の会長をもって一般社団法人及び一般財團法人に関する法律(平成18年法律第48号。以下「一般社団・財團法人法」という。)に規定する代表理事とし、同項の専務理事及び常務理事をもって一般社団・財團法人法第197条において準用する一般社団・財團法人法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

#### (役員の選任)

第25条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 会長、副会長、専務理事及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

3 監事は、この法人の理事又は使用人を兼ねることができない。

#### (理事の職務及び権限)

第26条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款に定めるところにより、職務を執行する。

2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。

3 副会長は、会長を補佐する。

4 専務理事は、会長及び副会長を補佐し、この法人の業務を執行する。

5 常務理事は、この法人の業務を分担執行する。

6 会長、専務理事及び常務理事は、毎事業年度毎に4ヶ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

#### (監事の職務及び権限)

第27条 監事は、理事の職務執行の状況を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

#### (役員の任期)

第28条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定期評議員会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定期評議員会の終結の時までとする。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第22条に定めた定数に足りなくなる時は、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

#### (役員の解任)

第29条 理事又は監事が、次のいずれかに該当する時は、評議員会の決議によって解任することができる。

(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。

(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えられないとき。

#### (報酬等)

第30条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、常勤の理事及び監事に対しては、報酬等を支給することができる。

2 理事及び監事に対しては、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

3 前2項に規定する事項に関し必要な事項は、評議員会の議決を経て、会長が定める。

## 第8章 理事会

#### (構成)

第31条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

#### (権限)

第32条 理事会は次の職務を行う。

(1) この法人の業務執行の決定

(2) 理事の職務の執行の監督

(3) 会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定又は解職

#### (種類及び開催)

第33条 理事会は、定期理事会及び臨時理事会とする。

2 定期理事会は、毎事業年度ごとに4ヶ月を超える間隔で2回以上開催する。

3 臨時理事会は、必要がある場合に開催する。

#### (招集)

第34条 理事会は、会長が招集する。

2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

#### (議長)

第35条 理事会の議長は、会長がこれに当たる。

#### (決議)

第36条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財團法人に関する法律第197条において準用する同法96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があつたものとみなす。

#### (議事録)

第37条 理事会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成する。

2 出席した会員及び監事は、前項の議事録に記名押印するものとする。

## 第9章 名誉会長、名誉顧問、顧問及び参与

(名誉会長、名誉顧問、顧問及び参与)

- 第38条 この法人に名誉会長、顧問及び参与を置くことができる。
- 2 名誉会長は、評議員会の決議をもって推戴する。
  - 3 顧問は、会長が委嘱する。
  - 4 顧問は、会長の諮問に応ずるものとする。
  - 5 参与は、評議員会の推薦した者を会長が委嘱する。
  - 6 参与は、評議員会の諮問に応ずるものとする。

(報酬等)

- 第39条 名誉会長、顧問及び参与は無報酬とする。
- 2 名誉会長、顧問及び参与に対しては、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。
  - 3 前2項に規定する事項に關し必要な事項は、評議員会の決議を経て、会長が定める。

## 第10章 専門委員会

(専門委員会)

- 第40条 この法人は、理事会の決議を経て、専門委員会を置くことができる。
- 2 専門委員会は、理事会の決議に基づき、第4条各号及び第5条各号に掲げる事業について計画、調査、研究等を行う。
  - 3 専門委員会に関する規定は、理事会の決議を経て、会長がこれを定める。

## 第11章 事務局

(設置)

- 第41条 この法人の事務を処理させるために、事務局を設置する。
- 2 事務局に、事務局長及び所要の職員を置く。
  - 3 前項の職員は、会長がこれを任免する。
  - 4 事務局の組織及び管理に關し必要な事項は、会長が定める。

## 第12章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

- 第42条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。
- 2 前項の規定は、この定款の第3条、第4条及び第12条についても適用する。

(解散)

- 第43条 この法人は、基本財産の減少によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

(公益認定の取り消し等に伴う処理)

- 第44条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合(その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。)には、評議員会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取り消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は固若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

- 第45条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は固若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

## 第13章 公告の方法

(公示の方法)

- 第46条 この法人の公告は、電子公告により行う。
- 2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法による。

## 第14章 補則

(委任)

- 第47条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に關し必要な事項は、理事会の決議を経て、会長が別に定める。

附則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律(平成18年法律第50号。以下「整備法」という。)第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 整備法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記及び公益法人の設立の登記を行ったときは、第7条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。
- 3 この法人の最初の役員及び評議員は、次に掲げる者とする。

(1) 役員

会長 山根 恒弘  
副会長 岩田行史 渡良雄  
事務理事 赤羽根慶仁  
常務理事 谷口正浩 沖田第三 丸川義則 大原博実 藤田博久  
理事 小玉淳一 清田浩司 平井基博 榎皮浩二 土田芳裕  
幹事 朝尾龍博 大畠史郎

(2) 評議員

小林広典 定成善久 渡邊博之 森田晃司 村瀬保文  
大久保忠 新延浩二 小曾正幸 松尾英樹 中崎 篤  
土屋敬道 平賀裕之 高垣一之 宮西 力 山内 崇  
岩城明博 大野祐二郎 黒田則雄 弓場弘道 吉井浩之  
柳本孝仁 石川英毅 藤井 雄 田中慎一 西野信代

4 この定款は平成30年6月28日付にて、一部改定施行する。

# 2018年度 表彰トロフィー受賞者

受賞トロフィー	クラス	受賞者	選考理由
マツダ トロフィー	OP級	前田 月里	第50回全日本オプティミスト級セーリング選手権大会準優勝、OP二次選考会3位、OP級アジア選手権大会出場 他、優秀な成績を収めた
	420級	小菅 楓 橋本 歩波	第73回国民体育大会国体少年女子420級4位、茨木リハーサル国体420級2位他、優秀な成績を収めた
	レーザー4, 7級	前田 海陽	第73回国民体育大会国体少年男子レーザーラジアル級3位、JOCジュニアオリンピックカップ3位他、優秀な成績を収めた
マツダ スペシャル トロフィー	スナイプ級	福山市役所	第45回全日本自治体職員ヨット競技大会優勝 4連覇を達成！ 藤井/新延/大野/岡本/武田/濱田

## 2018年度 競技会記録表【県内】

### 《ディンギー》

月	日	開催地	レース	種目	参加艇数	1位	2位	3位
4	29	呉吉浦湾	第61回呉みなとまつりヨット競技大会	470級	3艇	籠橋・垣内	清水・細川	矢田・谷口
				スナイプ級	0艇	-	-	-
				シーホッパー級	2艇	有村	田中	-
5	19-20	観音マリーナ	広島県高等学校春季ヨット大会	男子レーザーラジアル級	2艇	河井	村上	-
				女子レーザーラジアル級	1艇	小菅	-	-
	20	観音マリーナ	広島県春期大会	470級	10 艇	笹口/住野	山田/藤原	桜田/富山
6	25-27	観音マリーナ	SAIL HIROSHIMA 2016	スナイプ級	8 艇	脇/野田	最勝寺/橋高	佐藤/張
				高校ダブルハンド	0 艇	-	-	-
				レーザーラジアル級	9 艇	前田(海)	濱田	小菅
7	22-23	観音マリーナ	第17回全日本チームレース選手権大会	470級	33艇	岩本/堀江(岡山)	高橋/則友(岡山)	高橋/三上
				スナイプ級	38艇	山地/内海(岡山)	安森/西尾	安倍/田中
				男子レーザーラジアル級	2艇	河井	村上	-
8	2-3	観音マリーナ	第71回広島県高等学校総合体育大会ヨット競技	女子レーザーラジアル級	1艇	小菅	-	-
				420級	1艇	富永/本田/中田	-	-
				OP級	6艇	豊澄(成)	長田	豊澄(麻)
9	24	小室浜沖	2018 TOMOディンギーレガッタ	オーブンクラス	7艇	濱田	瀬来	元繁/新延
				スナイプ級	台風による悪天候で中止			
				470級	7艇	澤村/横原(覚)	長野/中島	田口/村尾
10	4-5	観音マリーナ	平成28年度広島県夏期オーブンヨット選手権大会	スナイプ級	3艇	高木/安食	加藤/伊藤	黒塚/張
				420級	3艇	高橋/田村	小菅/橋本	村上/本崎
				シングルハンダー級	3艇	前田(博)	豊島(以)	若林
11	17-19	観音マリーナ	第41回西日本オブティミスト級選手権大会	レーザーラジアル級	10艇	前田(海)	松尾	濱田
				ウインドサーフィン級	1艇	佐藤	-	-
				OP級	Aクラス 66艇 Bクラス 20艇	向井(真) 伊藤(時津)	前田(月) 森田(別府)	幸野(別府) 豊澄(成)
12	2	小室浜沖	第51回福山市長杯ヨットレース	オーブンクラス	9艇	新延/元繁	瀬来	田中/河城
				OP級	0艇	-	-	-
	2	観音マリーナ	広島市シングルハンド選手権	OP級	9艇	前田(月)	向井(真)	後藤(う)
13	8-9	観音マリーナ	第67回中国学生ヨット選手権大会	レーザーラジアル級	0艇	-	-	-
				470級	14艇	高橋/則友(岡大)	光安/檜崎(広大)	岩本/堀江(岡大)
	15-17	観音マリーナ	第34回全日本OP級チームレース選手権大会	スナイプ級	17艇	森田/杉田(山大)	山地/渡邊(岡大)	黒塚/張(広大)
14	30	小室浜沖	仙酔島一周レース	OP級	8チーム	しまっち(江の島)	アルバトロス	アフロ・シロー
				レーティングクラス	悪天候の為に中止			
				ハンザ2.3クラス	19艇	Ruston	Burns	Rowsthorn
15	13-18	観音マリーナ	ハンザクラスマーチ&インターナショナルチャンピオンシップ2018	ハンザ303クラスシングル	43艇	Cichocki	Symonds	丹羽
				ハンザ303クラスダブルス	52艇	中山・柴田	Darby・Symonds	Maurer・Hiller
				ハンザリバティ	33艇	Schahinger	Eychenne	Voorbach
16	21	観音マリーナ	平成30年度広島県会長杯選手権	ハンザリバティ	7艇	Voorbach	Deenen	青野
				470級	11艇	山田/三宅	細田/村尾	光安/富山
	21	観音マリーナ	広島県ジュニア新人戦	スナイプ級	14艇	川口/小坂	櫻田/北川	西村/大槻
17				レーザーラジアル級	4艇	久保田	泉	西内
18	観音マリーナ	広島県ジュニア選手権大会	OP級	10艇	ライナス	長田	豊澄(隆)	
			Aクラス	4艇	向井(真)	後藤(う)	久保田	
			Bクラス	7艇	豊澄(成)	豊澄(麻)	豊澄(隆)	



2018 OPTIMIST WEST JAPAN Championship in Hiroshima by infomogeno



2018 Hansa Class World & International Championships in Hiroshima, Japan by adamawave

## 2018年度 競技会記録表【遠征】

月	日	開催地	レース	種目	参加艇数	成績
4	31-1	高松市ヨット競技場	レーザー四国選手権2018	スタンダード	19艇	西本 4、中島 19
	7-8	兵庫県立海浜体育館		レーザーラジアルクラス	34艇	豊島 5、柏皮 14、橋本 16、泉 23、浜本 29
	28-29	境港公共マリーナ	2018中国スナイプ選手権大会	OP級	54艇	前田(月) 21、後藤(う) 29、後藤(す) 30
				スナイプ級		中止
5	3-6	佐賀県ヨットハーバー	JOCジュニアオリンピックカップ	420級	78艇	小菅/橋本 70
	3-5	福岡市ヨットハーバー		レーザー4.7クラス	21艇	前田(海) 3、吉川 20
	4-6	佐賀県ヨットハーバー		レーザーラジアルクラス	72艇	西内 22、松尾 33
6	12-13	江の島ヨットハーバー	江の島交流レガッタ 2018	470級	26艇	桜口/住野 11、山田/富山 15、櫻田/藤原 16、西川/植崎 19
	19-20	兵庫県芦屋浜洋体育館		スナイプ級	38艇	川口/強 16、黒澤/安食 21、北川/平瀬 26、住吉/西村 30、加藤/伊藤 35
	9-10	牛窓ヨットハーバー		OP級	51艇	前田(月) 4、向井(真) 6、後藤(う) 16、久保田 30、後藤(す) 32、
7	14-15	山口県宇部ヨットハーバー	第58回中国高等学校ヨット選手権大会	Aクラス	29艇	北 2、向井(な) 6、ウイリアムス 19、ライナス 22
	23-24	福津市勝浦浜		Bクラス	13艇	鈴木組 3、藤枝組 5、佐野組 7
	9-17	ポーランド		303ダブルス	13艇	森山 4
8	21-22	和歌山セーリングセンター	JOCジュニアオリンピックカップ 楽JSAFジュニア・ユースセーリングチャンピオンシップ(ジュニア部門)	2.3シングルス	14艇	鶴田組 4
	1-2	三笠ヨットハーバー		2.3ダブルス	43艇	藤井 26、中島 34
	18-19	海陽		レーザーラジアルクラス	36艇	柏皮 4、浜本 24
9	20-21	インドネシア	2018 Asian Sailing Championship	470級	27艇	光安/植崎 4、桜口/住野 5、山田/藤原 8、櫻田/富山 12、柳/三宅 18
	22-26	福岡市ヨットハーバー		スナイプ級	26艇	川口/平瀬 3、黒澤/住吉 9、北川/西村 7、加藤/安食 14
	27-28	境港公共マリーナ		団体総合		広島大学 470級 3位、スナイプ級 2位
10	22-24	境港公共マリーナ	境港オーブンレガッタ	スタンダード	8艇	豊島(以) 2
	9-10	牛窓ヨットハーバー		レーザー4.7クラス	38艇	前田(海) 4
	9-30-10/3	若狭和田マリーナ		OP級	25艇	前田(月) 1
11	10-11	ボーランド	2018 Laser 4.7 Youth World Championship	Aクラス	20艇	ライナス 15
	10-11	三笠ヨットハーバー		レーザー4.7クラス	275艇	前田(海) 78
	10-11	岡山/シンキンカップ2018		OP級	85艇	前田(月) 2、向井(真) 10、後藤(う) 21、後藤(す) 27、北 32、久保田 42
12	10-11	三笠ヨットハーバー		レーザー4.7クラス	11艇	前田(海) 1、豊島(有) 3
	18-19	海陽	第45回全日本自治体職員ヨット競技大会	303ダブルス	4艇	藤枝組 2
	20-21	インドネシア		2.3ダブルス	17艇	鶴田組 7
13	22-23	岡山/シンキンカップ2018		スナイプ級	9団体	新延/大野/岡本/藤井/渡田/武田 1
	22-23	牛窓ヨットハーバー	第71回全日本スナイプ級ヨット選手権大会	レーザー4.7クラス	23艇	前田(海) 5
	24-25	福岡市ヨットハーバー		スナイプ級	78艇	最藤寺/橋高 65(広西)、鶴/野田 69
14	21-22	牛窓ヨットハーバー	岡山/シンキンカップ2018	303ダブルス	6艇	佐野組 2、柿内組 3
	22-23	海陽ヨットハーバー		2.3ダブルス	10艇	鶴田組 5
	23-24	海陽ヨットハーバー		470クラス	38艇	櫻田/植崎・住野 15
15	23-24	海陽ヨットハーバー	第27回全日本学生女子ヨット選手権	スナイプ級	38艇	黒澤/住吉・伊藤 17
	9-10	若狭和田マリーナ		成年男子470級	35艇	澤村/横原(覚) 12
	10-11			成年男子シングルハンマー級	47艇	前田(博) 10
16	10-11			成年男子ウインドサーフィン級	36艇	佐組 30
	10-11			成年女子SS級	26艇	高橋/田村 8
	10-11			成年女子レーザーラジアル	30艇	渡田 9
17	10-11			少年男子420級	35艇	村上/本崎 35
	10-11			少年男子レーザーラジアル	43艇	前田(海) 3
	10-11			少年女子420級	31艇	小菅/橋本 4

## 2018年度 競技会記録表【遠征】

			少年女子レーザーラジアル	31艇	松尾 4
11	26-28 霞ヶ浦セーリング特設会場	高松宮妃記念杯第64回全日本実業団ヨット選手権大会いきいき茨木ゆめ国体セーリング競技リハーサル大会	スナイプ級	36艇	三菱重工広島 6、三菱重工広島 10、マツダ㈱ 12、マツダ㈱ 23
			レーザー級	11艇	豊島(以) 1
			レーザーラジアル級	20艇	前田 1、豊島(有) 2、前田(海) 4
			420級	18艇	小菅(振)/橋本 2
12	2-5 境港公共マリーナ 10-17 ミャンマー	2017全日本レーザー選手権 2018OPTIMIST ASIAN & OCEANIAN CHAMPIONSHIP	スタンダードクラス	36艇	-
			ラジアルクラス	67艇	檜皮 8、前田(海) 24、橋本 29、丸居 36、西内 54、浜本 65
			OP級	129艇	前田(月) 39
2	23-26 江の島ヨットハーバー	50回全日本オプティミスト級セーリング選手権大会	OP級	143艇	前田(月) 2、向井(真) 32、後藤(う) 40、久保田 75、北 124
3	8-9 愛媛(新居浜)	第14回 坊っちゃんカップヨット大会	OP級	Aクラス	18艇
				Bクラス	20艇
				Cクラス	13艇
					前田(月) 1 豊澄(成) 1、豊澄(隆) 5、豊澄(麻) 6、ライナス 12 正本 3、柳崎 12
24-26	15-16 江の島	2018クリスマスカップ	レーザー4.7クラス	20艇	豊島(有) 2
	8-9 佐賀県ヨットハーバー	2018年度西日本420級選手権大会	420級	21艇	小菅・橋本 3
	佐賀県ヨットハーバー	第31回全日本420級ヨット選手権大会	420級	87艇	小菅・橋本 16
	10-11 和歌山セーリングセンター	第32回和歌山コールドカップ	OP級	Aクラス	20艇
	10-11 平川ヨットハーバー	2019九州ウインターフィッターカップ選手権	OP級	Bクラス	15艇
2	8-11 山口県スガーリア佐渡村ヨットハーバー	2019 Laser MidWinter Regatta	スタンダード	20艇	-
			ラジアル	58艇	西内 28
			レーザー4.7クラス	13艇	豊島(有) 5、久保田 8
3	21-23 三ヶ日青年の家	第26回セーリングチャレンジカップIN浜名湖	レーザー4.7クラス	22艇	豊島(有) 3、久保田 10
			レーザーラジアルクラス	44艇	西内 19
21-24	江の島ヨットハーバー	2019年JODAナショナルチーム最終選考会	OP級	40艇	前田3、向井13、後藤37



**2019年度 全日本選手権等セーリング競技日程**  
(2019年4月1日~2020年3月31日)

2019年2月17日版

月	期間	大会名称	会場	主催団体等
3	3/15~3/17	全日本スナイプ級ヨットジュニア選手権大会 兼全日本スナイプ級ヨット女子選手権大会	柳ヶ崎ヨットハーバー	日本スナイプ協会
5	5/2~5/5	JOCジュニアオリンピックカップ 兼 JSASFジュニア・ユースセーリングチャンピオンシップ (ユース部門)	佐賀県唐津市 佐賀県ヨットハーバー	JSASF
	5/25~5/26	第14回全日本ブラインドセーリング選手権大会	愛知県西尾市マリーナ東海	日本視覚障害者セーリング協会
6	6/14~6/16	第29回全日本A級ディンギー選手権大会	千葉市福毛ヨットハーバー	日本A級ディンギー協会
	6/8~6/9	全日本スナイプ級ヨットマスターズ選手権大会	鹿児島県平川ヨットハーバー	日本スナイプ協会
7	7/2~7/9	Laser Standard World Championship	鳥取県境港市 境港公共マリーナ	2019レーザー級世界選手権大会実行委員会
	7/17~7/24	Laser Radial World Championship	鳥取県境港市 境港公共マリーナ	2019レーザー級世界選手権大会実行委員会
7	7/25~7/28	第60回 パールレース	三重県南伊勢町五ヶ所湾沖 静岡県熱海港沖	JSASF外洋東海 JSASF外洋湘南
	7/27~7/28	第17回全国中学校ヨット選手権大会 JOCジュニアオリンピックカップ 兼 JSAFジュニア・ユースセーリングチャンピオンシップ (ジュニア部門)	香川県高松市 高松市ヨット競技場 和歌山セーリングセンター	全国中学校ヨット選手権大会連絡協議会 JSASF
8	8/2~8/9	470 World Championship	神奈川県藤沢市 江の島ヨットハーバー	日本470協会 神奈川県セーリング連盟
	8/12~8/16	平成31年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技	和歌山セーリングセンター	和歌山県セーリング連盟 全国高体連ヨット専門部
	8/15~8/22	Olympic Test Event	神奈川県藤沢市 江の島ヨットハーバー	
	8/17~8/18	第46回全日本自治体職員ヨット競技大会	愛知県蒲郡市海陽ヨットハーバー	全日本自治体職員ヨット連盟
	8/25~9/1	Sailing World Cup 江の島大会	神奈川県藤沢市 江の島ヨットハーバー	World Sailing JSASF
9	9/6~9/8	2019年度全日本学生ヨット個人選手権大会 2019年度全日本学生シングルハンドレガント	豊田自動織機 海陽ヨットハーバー	全日本学生ヨット連盟
	9/7~9/8	テクノ293クラス全日本選手権大会	藤沢市片瀬海岸 東浜海水浴場	日本ウインドサーフィン協会 湘南海洋教育スポーツ振興協会
	9/7~9/8	第18回49erクラス全日本選手権大会 第4回49erFXクラス全日本選手権大会	神奈川県藤沢市 江の島ヨットハーバー	日本49erクラス協会
	9/7~9/8	29er級全日本選手権大会	神奈川県藤沢市 江の島ヨットハーバー	日本29er級協会
	9/13~9/16	第46回ドラゴンクラス全日本選手権大会2019	兵庫県西宮市 新西宮ヨットハーバー沖	日本ドラゴン協会
	9/14~9/15	モス全日本選手権2019	ビーチスマリーナ 浜名湖	日本モスクラス協会
	9/14~9/16	全日本オブティミスト級チームレース選手権大会	広島県広島市 観音マリーナ	日本オブティミストディンギー協会 広島県セーリング連盟
	9/14~9/16	鹿児島県体セーリング競技リハーサル大会 高松宮妃記念杯 第65回全日本実業団ヨット選手権大会 第21回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会 2019年全日本セーリング選手権大会	鹿児島県鹿児島市平川特設セーリング会場	JSAF国体委員会 セーリングスピリッツ協会 鹿児島県セーリング連盟 全日本実業団ヨット連盟
	9/20~9/23	J/24 全日本選手権大会	西福岡マリーナ	日本J/24クラス協会
	9/21~9/22	Laser Class 全日本マスターズ選手権大会	香川県小豆郡小豆島	日本レーザークラス協会
10	9/21~9/23	日建レンタコムカップ 第28回全日本学生女子ヨット選手権大会	愛知県蒲郡市海陽ヨットハーバー	全日本学生ヨット連盟
	9/21~9/23	第8回オープンビッククラス全日本選手権大会2019	兵庫県西宮市 ウィンドワードオーシャンクラブ	日本オープンビッククラス協会
	9/29~10/2	第74回国民体育大会茨城県体セーリング競技会	茨城県阿見町霞ヶ浦セーリング特設会場	JSAF国体委員会
	10/5	第15回RSクラス全日本選手権大会	神奈川県葉山町	日本RSクラス協会
	10/11~10/14	ASAFカップ兼JSAF江の島オリンピックウィーク	神奈川県藤沢市 江の島ヨットハーバー	JSAF
	10/12~10/13	第48回ソーリング級全日本選手権大会	長野県諏訪湖	日本ソーリング協会
	10/12~10/13	全日本チームレース選手権大会	広島県広島市 観音マリーナ	広島県セーリング連盟
	10/16~10/20	第72回全日本スナイプ級ヨット選手権大会	葉山港	日本スナイプ協会
	10/19~10/20	第65回全日本シーホース級ヨット選手権大会	神奈川県藤沢市 江の島ヨットハーバー	日本シーホース協会
	10/19~10/20	第34回テーザー全日本選手権大会	愛知県蒲郡市海陽ヨットハーバー	日本テーザー協会
11	10/19~10/20	2019年度全日本トッパー級選手権大会	琵琶湖 真野浜	日本トッパー協会
	10/19~10/20	シーホッパー全日本選手権大会	滋賀県琵琶湖 ヤマハマリーナひわこ	日本シーホッパー協会
	10/26~10/27	第55回全日本K16級ヨット選手権大会	神奈川県藤沢市 江の島ヨットハーバー	日本K16クラス協会
	10/26~10/27	International14 全日本選手権大会	神奈川県藤沢市 江の島ヨットハーバー	日本International14協会
	10/31~11/4	第84回全日本学生ヨット選手権大会	新西宮ヨットハーバー	全日本学生ヨット連盟
	11/1~11/4	第6回全日本Melges20クラス選手権大会	神奈川県葉山町	日本メルジェス協会
	11/1~11/4	第39回ミニトン全日本大会	鹿児島県 鹿児島KMS	日本ミニトン協会
	11/1~11/4	Laser All Japan Championships	静岡県 浜名湖	日本レーザークラス協会
	11/15~11/18	全日本学生ボードセーリング選手権 個人戦	沖縄県 オクマ	全日本学生ボードセーリング連盟
	11/20~11/24	第48回全日本470級ヨット選手権大会	神奈川県藤沢市 江の島ヨットハーバー	神奈川県セーリング連盟/日本470協会
12	11/20~11/24	第33回全日本女子470級ヨット選手権大会	神奈川県藤沢市 江の島ヨットハーバー	神奈川県セーリング連盟/日本470協会
	11/21~11/24	第51回全日本オブティミスト級セーリング選手権大会	鹿児島県平川ヨットハーバー	日本オブティミストディンギー協会 鹿児島県セーリング連盟
12	12月下旬予定	第32回全日本420級ヨット選手権大会	神奈川県葉山町	日本420協会
2	2/28~3/2	全日本学生ボードセーリング選手権大会 大学対抗戦	和歌山セーリングセンター	全日本学生ボードセーリング連盟
3	3/1~3/3	第8回 JYMA選抜 大学対抗&U25ヨットマッチレース	愛知県 マリーナ東海	日本ヨットマッチレース協会
	未定	平成31年度(第37回)全日本FJ級ヨット選手権大会		日本FJ協会

## 2019年度広島県セーリング連盟レース日程表

2019.3.19時点

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	1	1 クレイトンペイカップ No3 県高校総体	1	1 江の島WSC : 江の島 I 福山市長杯 : 福山	1 第73回国体 : 阿見町	1	1	1
2	2 JOCジュニア：唐津 I	2 クレイトンペイカップ No3 県高校総体	2 レーザークード (STD) : 境港 I	2 4アロワールド : 江の島 I	2 第73回国体 : 阿見町	2	2	2
3	3 高校選 : 境港 I	3	3 レーザーワールド : 境港	3 4アロワールド : 江の島	3	3	3	3
4	4 高校選 : 境港	4	4 レーザーワールド : 境港	4 4アロワールド : 江の島 ゆめしまカップ : 福山	4	4	4 全日本インカレ : 西宮 I	4
5	5 高校選 : 境港 I JOCジュニア：唐津 I	5	5 レーザーワールド : 境港	5 4アロワールド : 江の島	5	5	5	5
6 OPお花見	6	6	6 レーザーワールド : 境港 中四国インカレ : 新居浜	6 4アロワールド : 江の島	6 インカレ競選 : 周防 I	6 因島水軍ヨットレース	6	6
7 メンバーズ・ミーティング	7	7	7 レーザーワールド : 境港 中四国インカレ : 新居浜	7 4アロワールド : 江の島	7 インカレ競選 : 周防 I	7	7	7
8	8	8	8 レーザーワールド : 境港	8 4アロワールド : 江の島	8 司敵杯 (宮島F)	8	8	8
9	9 学連OB戦 広島市ヨット交歓会	9 レーザークード (STD) : 境港 I	9 4アロワールド : 江の島 I	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11 国画展	11	11	11	11
12	12 ソセージ(広島F) No2	12	12 インターハイ : 和歌山 I	12	12 全日本チームレース : 観音 秋例大祭	12	12	12
13 ポートショウ	13	13 中国インターハイ : 広島 I	13 夏季オープン (国体予選会)	13 インターハイ : 和歌山 I	13 プレ国体 (計測) : 鹿児島 I 中国インカレ : 半島 (14~16)	13 全日本チームレース : 観音 秋例大祭	13	13
14 ソセージ(広島F) No1 ポートショウ	14	14 宮島ヨットレース No4 夏季オープン (国体予選会)	14 インターハイ : 和歌山 I	14 プレ国体 : 鹿児島 I	14 全日本OPチームレース : 観音 I 食機カップ No7 (13日)	14	14	14
15	15	15	15	15 インターハイ : 和歌山 I	15 プレオリンピック : 鹿児島 I	15 プレオリンピック : 鹿児島 I	15	15
16	16	16 中国インターハイ : 広島 I TOMOディンギー・レガッタ・福山	16 レーザーワールド : 境港	16 インターハイ : 和歌山 I	16 プレオリンピック : 鹿児島 I	16 プレ国体 : 鹿児島 I	16	16
17	17	17	17 レーザークード (ラジコン) : 境港 I	17 OP西日本 : 広島 I (16日) プレオリンピック : 江の島	17 OP西日本 : 広島 I (16日) プレオリンピック : 江の島	17	17	17
18	18 高校春期選手権	18	18 レーザーワールド : 境港	18 OP西日本 : 広島 I	18 プレオリンピック : 江の島	18	18	18
19	19 春期選手権	19	19 レーザーワールド : 境港	19 プレオリンピック : 江の島	19 鹿港会長杯 & 高校新人戦	19	19	19
20 中国レーザー : 観音	20	20	20 レーザーワールド : 境港	20 プレオリンピック : 江の島	20 広島県Jr新人戦 鹿港会長杯 & 高校新人戦	20	20	20
21 中国レーザー : 観音	21	21	21 レーザーワールド : 境港	21 ピースカップ	21 全日本OP 鹿児島 I	21	21	21
22	22	22	22 レーザーワールド : 境港	22 ピースカップ 湯戸内海撲滅ヨットレース	22	22 全日本OP 鹿児島 I	22	22
23	23	23	23 レーザーワールド : 境港	23 プレオリンピック : 江の島 I	23 松山オレンジカップ No.6 広島市シングルハンド選手権	23	23 全日本OP 鹿児島 I 県連70周年記念	23
24	24	24	24 レーザークード (ラジコン) : 境港 I	24 高の甲子園 : 西宮	24	24 全日本OP 鹿児島 I	24 ソセージ(広島F) No9	24
25	25 Sail Hiroshima : 観音 船岡ヨットレース : 福山	25	25	25 江の島WSC : 江の島 I	25 高の甲子園 : 西宮	25	25	25
26	26 Sail Hiroshima : 観音 船岡ヨットレース : 福山	26	26	26 江の島WSC : 江の島 I	26 ソセージ(広島F) No5 25日	26	26	26
27	27	27	27	27 江の島WSC : 江の島 I	27 仙酔島一面ヨットレース 第73回国体 : 阿見町 I	27	27	27
28	28	28	28	28 江の島WSC : 江の島 I	28 ソセージ(広島F) No8	28	28	28
29 見みとまつりヨット (中止)	29	29 チーム・レースクリニック : 観音	29 江の島WSC : 江の島 I	29 江の島WSC : 江の島 I	29 仙酔島一面ヨットレース 第73回国体 : 阿見町 I	29	29	29
30	30	30 チーム・レースクリニック : 観音	30 江の島WSC : 江の島 I	30 江の島WSC : 江の島 I	30 第73回国体 : 阿見町 I	30	30	30
	31		31	31 江の島WSC : 江の島 I	31 全日本インカレ : 西宮 I	31		31

注1 斜字体で表示しているレースは、現時点で把握している主な系カラースです。

注3 太文字は全国大会及びそれに準じた大会と国際大会です。

注2 アンダーラインのレースは、外洋西内海支部のポイント対象レースです。

# 2019年度の観音マリーナ開催レース概要

2019年2月28日修正

## 1 レーザー春の中国選手権大会

開催期日	4月20日(日)～21日(日)
主催団体	広島県セーリング連盟とレーザー広島フリートが共同主催
大会の規模	主に中国5県の社会人から高校生までが参加するレースで、参加艇は3種目で40～50艇程度(オープン参加可能)
その他	全日本選手権のウォリファイあり

## 2 県春期＆高校春期

開催期日	5月18日(土)～19日(日)
主催団体	広島県セーリング連盟と広島県高等学校体育連盟が共同主催
大会の規模	県内の高校生、大学生、社会人が参加するレースで、参加艇は4種目で30～40艇程度(オープン参加可能)
その他	県春期は19日のみ、高校春期は2日間実施

## 3 SAIL HIROSHIMA

開催期日	5月25日(土)～26日(日)
主催団体	広島大学ヨット部OB会、広島県セーリング連盟が共同主催
大会の規模	大学生、社会人が参加するレースで、参加艇は2種目で60～70艇程度で県外からの参加多数
その他	中国実業団選手権として同時開催

## 4 広島県高校総体

開催期日	6月1日(土)～2日(日)
主催団体	広島県高等学校体育連盟と広島県セーリング連盟が共同主催
大会の規模	県内の高校生のレースで、参加艇は男女合せて10艇程度
その他	中国インターハイ(広島)の県内予選大会

## 5 中国高校総体

開催期日	6月13日(木)～16日(日)
主催団体	広島県高等学校体育連盟と広島県セーリング連盟が共同主催
大会の規模	中国5県の高校生のレースで、参加艇は男女合せて30艇程度
その他	全国高校総体(インターハイ)の中国予選大会

## 6 広島県夏季オープン(広島県国体予選会)

開催期日	7月13日(土)～14日(日)
主催団体	広島県セーリング連盟
大会の規模	第74回茨城国体の広島県予選大会 広島県内の高校生、大学生、社会人を中心としたレース(オープン参加可能) 5種目(470、スナイプ、420、WS、レーザー)で40～60艇程度
その他	中国スナイプ選手権、中国470選手権大会として同時開催

## 7 OP級西日本選手権大会

開催期日	8月16日(金)～18日(日)
主催団体	日本OP協会と広島県セーリング連盟が共同主催
大会の規模	Aクラス60艇、Bクラス30艇程度 西日本各地の小学生、中学生が参加

## 8 第33回全日本OPチームレース選手権

開催期日 9月14日(土)～16日(祝)  
主催団体 日本OP協会と広島県セーリング連盟が共同主催  
運営主体 広島県ジュニアセーリングスクール(HJSS)  
大会の規模 OP級を使用したチームレースで、ジュニアを中心に最大12チーム  
1チームは4艇で構成  
その他 1位のチームには、二次選考会の参加枠を授与

## 9 ピースカップ

開催期日 9月21日(土)～22日(日)  
主催団体 広島県セーリング連盟  
大会の規模 ハンディキャップのある方々を含んだレース(40艇～50艇)  
全国各地からの参加者を見込み、障がいのある方も対象とした大会  
その他 参加国は10ヶ国以上

## 10 広島市シングルハンド選手権

開催期日 9月23日(祝)  
主催団体 広島県セーリング連盟と広島市ヨット連盟が共同主催  
大会の規模 OP級は10～20艇程度(オープン参加可能)  
レーザー級は10～20艇程度(オープン参加可能)

## 11 全日本チームレース

開催期日 10月12日(土)～13日(日)  
主催団体 広島県セーリング連盟  
大会の規模 スナイプ級3艇を使用したチームレースで最大12チーム  
1チームは3艇で構成  
例年、県外チームの参加あり

## 12 県会長杯&高校新人戦

開催期日 10月19日(土)～20日(日)  
主催団体 広島県高等学校体育連盟と広島県セーリング連盟が共同主催  
大会の規模 広島県内の高校生、大学生、社会人が参加するレースで、参加艇は5種目で30～40艇程度(オープン参加可能)  
その他 県会長杯は20日のみ、高校新人戦は2日間実施

## 13 広島県Jr新人戦

開催期日 10月20日(日)  
主催団体 広島セーリングスクールと広島県セーリング連盟が共同主催  
大会の規模等 OPクラスの大会で10艇程度  
(経験3年以内のセーラーが対象のレース)

## 14 広島県Jr選手権大会

開催期日 11月17日(日)  
主催団体 広島セーリングスクールと広島県セーリング連盟が共同主催  
大会の規模等 OPクラスの大会で県外からの参加も含み20艇程度  
(オープン参加可能)

## 2018(平成30)年度広島県セーリング連盟会員登録集計

### 団体別の登録者数

県連役員・クラブ・個人	JSAF・県連登録者	県連のみの登録者	合計
県連役員(顧問・参与)	13	1	14
県連役員(理事・評議員)	15	3	18
県連関係	23	0	23
実業団	16	0	16
クラブ	28	19	47
大学生	68	0	68
高校生	7	0	7
ジュニア	23	0	23
その他	12	0	12
合計	205	23	228

### 水域別及び住所別の登録者数

広島水域	187	呉水域	20	福山水域	12
広島市	138	呉市	20	福山市	10
東広島市	37			三原市	2
安芸郡	10				
廿日市市	2				
県外	4	尾道・因島水域	5	大竹水域	0
県外	4	尾道市	3	大竹市	0
その他	0	因島市	2		

### 水域別の登録者構成

会員(人)	4年制	1年制会員(人)				小計(人)	構成比(%)
		一般	大学	高校	ジュニア		
広島水域	0	102	56	10	19	187	82%
呉水域	0	7	13	0	0	20	9%
尾道・因島水域	0	5	0	0	0	5	2%
福山水域	0	12	0	0	0	12	5%
大竹水域	0	0	0	0	0	0	0%
県外	1	2	1	0	0	4	2%
小計	1	128	70	10	19	228	女性の割合
合計		228人				32女性	14.04%

組織図/議案 (1)

◇ 公益財団法人広島県セーリング連盟 組織図 ◇

2019年3月



※70周年記念事業特別委員会として運営

# 競技関係資格者一覧

## レースオフィサー名簿 (2019年3月末現在)

### 1 ナショナル・レースオフィサー (NRO)

大原博實 兼田幸治 盛谷静之 土田芳裕  
檜皮浩二 松尾英樹 吉川巖一

### 2 エリア・レースオフィサー (ARO)

井川史朗 石川常義 小寺宏明 後藤貴博  
辻和也 長野直久 寺井裕康 藤田博之  
松浦尚史 横原紀

### 3 ローカル・レースオフィサー (LRO)

白井敏文 土井真子 河井正人

## メジャラー名簿 (2019年2月末 ODC 委員会ホームページより)

### 1 470級

白井敏文 (F) 末永貴久 (M) 宮崎大輔 (M)

### 2 スナイプ級

安部賢司 (F) 白井敏文 (F) 吉本昌弘 (F)  
五十川良則 (M) 高橋邦夫 (M)

### 3 レーザー級

高橋邦夫 (F) 小菅正幸 (F)

### 4 420級

吉川巖一 (M) 石川常義 (M) 横原久紀 (M)

### 5 OP級

吉川巖一 (F) 前田美保 (F) 豊澄智己 (F)  
横原久紀 (F) 北政行 (F) 白井敏文 (F)

注: (F) はフルメジャラーを、(M) はメンテナンスメジャラーを表します。

## ジャッジ名簿 (2019年2月末現在)

### 1 A級ジャッジ

兼田幸治 榎皮浩二 井川史朗 大原博裕  
土田芳裕 高橋邦夫 盛谷静之 原井實文

### 2 B級ジャッジ

濱田浩司 松浦尚史 渡長宮吉村後沖 笹高二  
藤田博英 小菅正義 康直 勝也 川瀬赤濱 和一  
松尾英樹 尚義健正 辻野西川瀬藤田 稔久  
石川常昭 濱原田人麿次 岩井後沖 原坂華  
森義臣 正次 岩井正之 坂田悟帆  
高昭 逸 西川瀬藤田 甲斐生帆  
甲斐逸平 岩井内正 岩井後沖 岩井帆  
前斐田 美保 泉正 岩井後沖

### 3 アンパイア名簿

兼田幸治 大原博實 土田芳裕 藤井裕文  
後藤貴之

**M E M O**

みんなの一生懸命を応援します。



URL : <http://yashima-marine.jp/>  
e-mail : [yashima@yashima-marine.jp](mailto:yashima@yashima-marine.jp)

TEL 082-254-5137 / FAX 082-252-2185  
〒734-0003 広島市南区宇品東6-1-78  
(イオン宇品ショッピングセンター・南税務署ソバ)

'18 公益財団法人 広島県セーリング連盟会報

発行 2018年4月1日

発行者 公益財団法人広島県セーリング連盟

会長 山根恒弘

事務局

〒733-0036 広島市西区観音新町4丁目14番6号  
広島観音マリーナデインギヤード

土田芳裕

T E L (082) 296-7725

F A X (082) 233-3529

e-mail:[hyacht-f@kind.ocn.ne.jp](mailto:hyacht-f@kind.ocn.ne.jp)

BalcomBMW

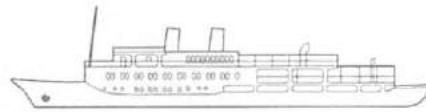


MINI  
HIROSHIMA  
FUKUYAMA



Rolls-Royce  
Motor Cars  
HIROSHIMA





**GALAXY**

# Hiroshima Bay Cruise Galaxy 広島ベイクルーズ銀河

最高の思い出と最高のおもてなしを…

瀬戸内海の海の幸を活かしたクルーズ料理に舌鼓

世界遺産宮島をリッチな気分で観光できるのは、

銀河クルーズしかありません。



## ランチクルーズ

お一人様 **¥7,000～**

広島港～宮島厳島神社沖～広島港

12:00

14:30

お食事・乗船料・税金・サービス料込み

## ディナークルーズ

お一人様 **¥9,000～**

広島港～宮島厳島神社沖～広島港

18:50

21:00

お食事・乗船料・税金・サービス料込み

※土日祝はサンセットクルーズ 17:50 発～20:00 着

## 宮島パック

お一人様 **¥8,200～**

広島港～宮島上陸観光～高速船～広島港

12:00

15:00/16:00/17:00

お食事・銀河乗船料・高速船乗船料・税金・サービス料込み

※銀河ランチクルーズと世界遺産宮島散策を楽しめるお得なパックです。

お問い合わせ・お申し込みは…

**銀河予約センター 082-255-3344**

銀河の最新情報やイベント情報はホームページで！！

<http://ginga-cruise.com>

銀河クルーズ

検索



山根木材

# 瀬戸内チャータークルージング



1 ショートクルーズ  
ボート操船体験



3 ボートフィッシング  
体験

2 セールクルーザー  
体験

5 欲張り瀬戸内  
ロングクルーズ

4 瀬戸内海ボート  
フィッシング

6 音戸の瀬戸  
呉艦艇見学

7 宮島充実クルーズ

8 無人島「ドラゴンIS」  
でディキャンプBBQ

## 2019ボート・ヨット艇置き利用・募集中!!



### 操船教室開催中!!

1,020円／人



最大3名まで可能

ボートの操船方法をメインに離着岸の説明や  
アンカーのうちかたなどをレクチャーします！

### 年間艇置利用料

※諸事情により料金が変更になる場合があります。

海上(例)  
23ft 328,110円  
27ft 452,560円  
30ft 535,880円

陸上(例)  
23ft 340,850円  
27ft 483,620円  
30ft 580,720円

デインギー  
14ft未満 33,940円  
14ft以上 17ft未満 45,250円

観音マリーナでレンタルボートを使ってみませんか!



### 新規入会特典



観音マリーナで入会の方に  
特製防水バックプレゼント!!

●サイズ380×Φ190mm

YAMAHA Marine Club  
Sea-Style



HIROSHIMA KANON MARINA

広島観音マリーナ

株式会社 ひろしま港湾管理センター

〒733-0036 広島市西区観音新町4丁目14番6号  
TEL:082-234-7710 FAX:082-234-7720

<http://www.kanon-marina.co.jp>

■定休日／毎週火曜日(火曜日が国民の休日のときはその翌日)年末年始・当社が指定する日

■営業時間／9:00～17:00

サマータイム7月～9月(土・日・祭)  
8:00～18:00